

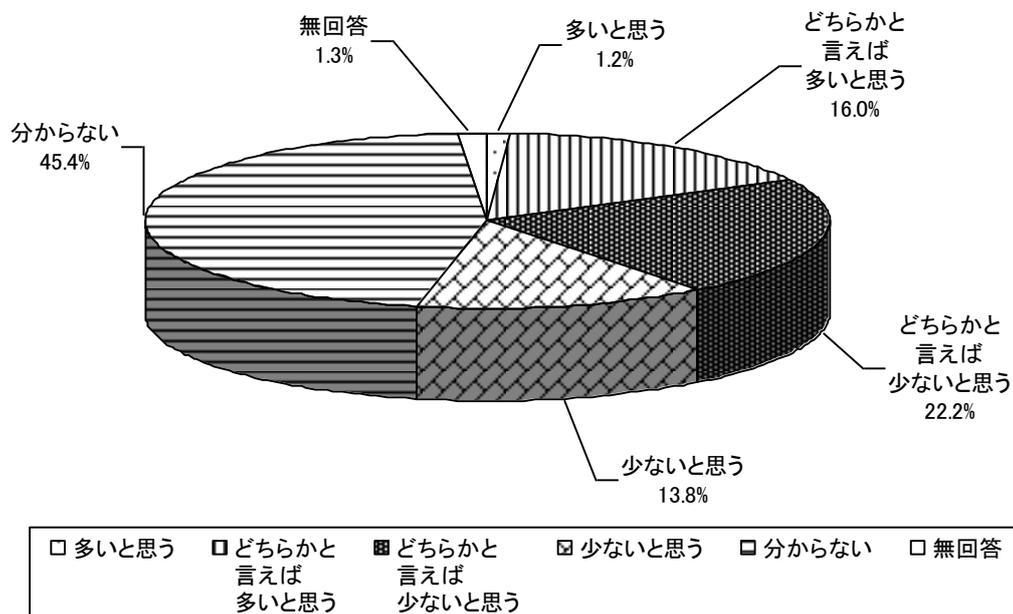
### (11) 市民参画の機会

問 11 北九州市は市政に対して意見や提案をする（市民参画）の機会が多いと思いますか。  
あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

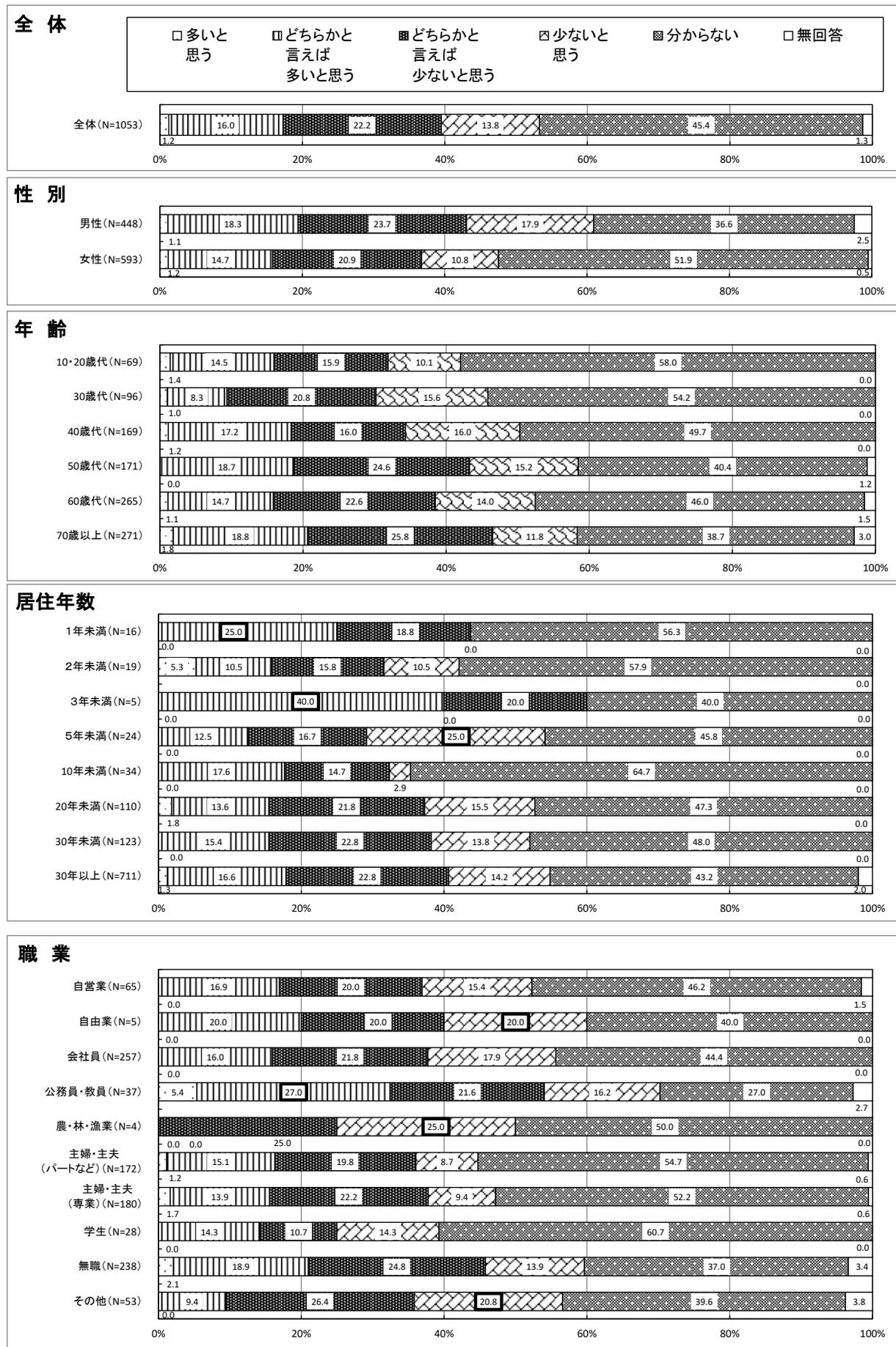
N : 1,053 人

項目	回答数（人）	割合（%）
1 多いと思う	13	1.2
2 どちらかと言えば多いと思う	169	16.0
3 どちらかと言えば少ないと思う	234	22.2
4 少ないと思う	145	13.8
5 分からない	478	45.4
無回答	14	1.3

- ◇ 市政に対して意見や提案をする（市民参画）の機会が多いと思うかは、
- 1位 「分からない」（45.4%）
  - 2位 「どちらかと言えば少ないと思う」（22.2%）
  - 3位 「どちらかと言えば多いと思う」（16.0%）

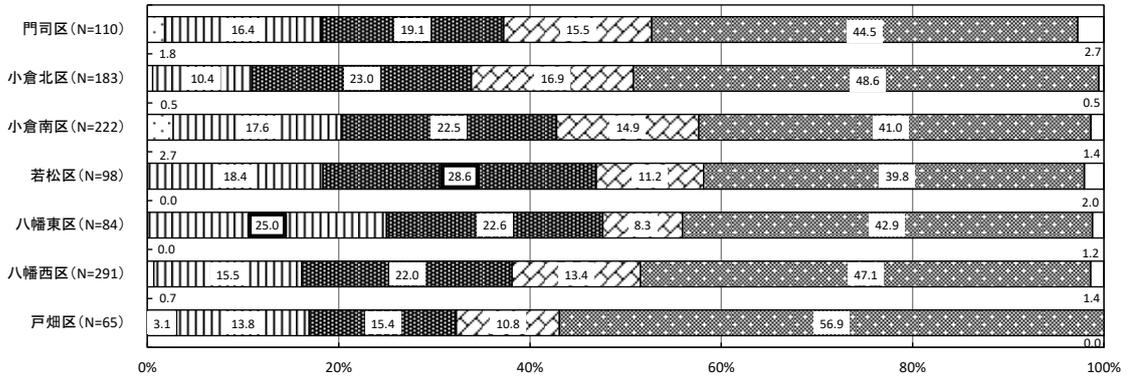


## 問 11 市民参画の機会

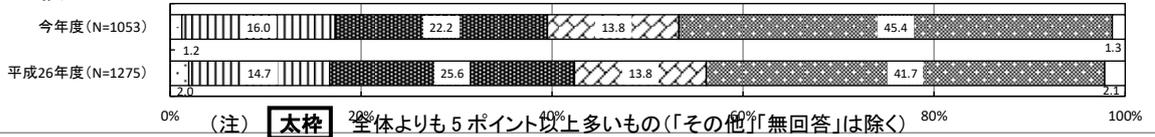


### 居住区

□ 多いと思う      □ どちらかと言えば多いと思う      ■ どちらかと言えば少ないと思う      □ 少ないと思う      ■ 分からない      □ 無回答



### 経年比較



### 【全体的傾向】

市政に対して意見や提案をする（市民参画）の機会が多いと思うかは、「分からない」（45.4%）が最も多く、次いで「どちらかと言えば少ないと思う」（22.2%）、「どちらかと言えば多いと思う」（16.0%）の順となっている。「多いと思う」（1.2%）と「どちらかと言えば多いと思う」を合わせた『多いと思う』は17.2%で2割弱となり、「どちらかと言えば少ないと思う」と「少ないと思う」（13.8%）を合わせた『少ないと思う』は36.0%で3割半ばとなっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「分からない」が最も多く、女性（51.9%）が男性（36.6%）を上回った。『多いと思う』は男性（19.4%）が女性（15.9%）を上回り、『少ないと思う』も男性（41.6%）が女性（31.7%）を上回った。
- ◇ 年齢別でも、全ての年齢層で「分からない」が最も多かった。中でも10・20歳代（58.0%）で最も多く、70歳以上（38.7%）で最も少なかった。『多いと思う』は30歳代（9.3%）で最も少なく、70歳以上（20.6%）で最も多くなった。『少ないと思う』は50歳代（39.8%）で最も多く、次いで70歳以上（37.6%）と続いた。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「分からない」は10年未満（64.7%）で最も多く、次いで2年未満（57.9%）、1年未満（56.3%）と続き、居住年数が比較的短い層で5割以上を占めた。『多いと思う』は1年未満（25.0%）で最も多かった。『少ないと思う』は5年未満（41.7%）で最も多く、次いで20年未満（37.3%）が続いた。
- ◇ 職業別では、総合1位の「分からない」は学生（60.7%）で最も多く、次いで主婦・主夫（パートなど）（54.7%）、主婦・主夫（専業）（52.2%）と続いた。『多いと思う』は公務員・教員（32.4%）で最も多かった。『少ないと思う』はその他（47.2%）で最も多く、次いで会社員（39.7%）が続いた。
- ◇ 職業別では、総合1位の「分からない」は戸畑区（56.9%）で最も多く、次いで小倉北区（48.6%）、八幡西区（47.1%）と続いた。『多いと思う』は八幡東区（25.0%）で最も多かった。『少ないと思う』は小倉北区（39.9%）で最も多く、次いで若松区（39.8%）が続いた。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「分からない」は今年度（45.4%）が平成26年度（41.7%）を上回っている。『多いと思う』も今年度（17.2%）が平成26年度（16.7%）を上回っている。また、『少ないと思う』では平成26年度（39.4%）が今年度（36.0%）を上回る結果となった。

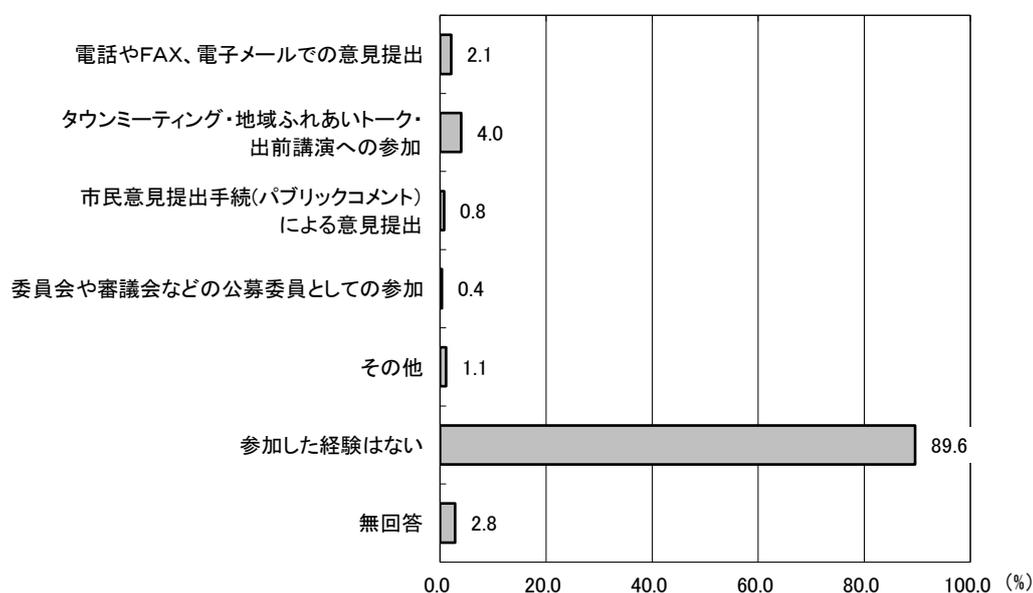
## (12) 市民参画の経験の有無

問12 あなたは、これまでに市政に対して意見や提案をした経験がありますか。経験がある方は、1から5の中で、参加したことがあるものを全て選んでください。参加した経験がない方は、6を選んでください。

N : 1,053 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 電話やFAX、電子メールでの意見提出	22	2.1
2 タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加	42	4.0
3 市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出	8	0.8
4 委員会や審議会などの公募委員としての参加	4	0.4
5 その他	12	1.1
6 参加した経験はない	943	89.6
無回答	30	2.8

- ◇ これまでに市政に対して意見や提案をした経験は、
- 1位 「参加した経験はない」(89.6%)
  - 2位 「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」(4.0%)
  - 3位 「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(2.1%)



問 12 市民参画の経験の有無

(件・%)

		サンプル数	電話やFAX、電子メールでの意見提出	タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加	市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出	委員会や審議会などの公募委員としての参加	その他	参加した経験はない	無回答
全体		1,053	2.1	4.0	0.8	0.4	1.1	89.6	2.8
性別	男性	448	2.7	3.3	0.9	0.2	1.6	89.7	2.5
	女性	593	1.7	4.4	0.7	0.5	0.8	89.9	2.7
年齢別	10・20歳代	69	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	<b>98.6</b>	0.0
	30歳代	96	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>100.0</b>	0.0
	40歳代	169	2.4	5.3	0.6	0.6	1.8	88.8	1.2
	50歳代	171	1.8	0.0	0.0	0.0	0.6	<b>96.5</b>	1.2
	60歳代	265	3.4	4.9	0.8	0.4	1.1	89.1	2.3
	70歳以上	271	2.2	6.6	1.8	0.7	1.8	81.2	6.3
居住年数別	1年未満	16	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>100.0</b>	0.0
	2年未満	19	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>94.7</b>	5.3
	3年未満	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>100.0</b>	0.0
	5年未満	24	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	91.7	0.0
	10年未満	34	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	94.1	0.0
	20年未満	110	1.8	2.7	0.0	0.9	2.7	87.3	4.5
	30年未満	123	1.6	1.6	0.8	0.0	0.8	<b>95.9</b>	0.0
	30年以上	711	2.5	4.6	1.0	0.4	1.0	88.5	3.0
職業別	自営業	65	0.0	4.6	3.1	1.5	0.0	89.2	3.1
	自由業	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>100.0</b>	0.0
	会社員	257	1.6	1.9	0.0	0.0	0.8	<b>95.7</b>	0.4
	公務員・教員	37	2.7	2.7	0.0	<b>5.4</b>	2.7	91.9	0.0
	農・林・漁業	4	<b>25.0</b>	<b>50.0</b>	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	主婦・主夫（パートなど）	172	4.1	1.7	1.2	0.0	0.6	90.7	2.3
	主婦・主夫（専業）	180	0.0	7.2	0.6	0.0	1.1	85.6	6.1
	学生	28	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	<b>96.4</b>	0.0
	無職	238	2.5	3.4	1.3	0.4	2.5	87.0	2.9
その他	53	5.7	<b>9.4</b>	0.0	0.0	0.0	84.9	1.9	
居住区別	門司区	110	3.6	7.3	0.0	0.9	0.9	83.6	4.5
	小倉北区	183	2.2	1.6	1.1	0.0	1.6	92.3	1.1
	小倉南区	222	1.4	3.6	0.0	0.5	1.8	92.3	1.8
	若松区	98	3.1	3.1	1.0	1.0	0.0	88.8	4.1
	八幡東区	84	1.2	6.0	2.4	0.0	0.0	85.7	6.0
	八幡西区	291	2.4	4.8	1.0	0.3	1.4	87.6	3.1
	戸畑区	65	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	<b>96.9</b>	1.5
経年比較									
平成26年度	全体	1,275	2.7	6.4	1.6	1.7	1.1	86.5	2.4

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの（「その他」、「無回答」は除く）

## 市民参画の経験の有無

### 【全体的傾向】

これまでに市政に対して意見や提案をした経験は、「参加した経験はない」(89.6%)が最も多く、9割弱となっている。次いで「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」(4.0%)、「電話やFAX、電子メールでの意見提出」(2.1%)の順になっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、「参加した経験はない」は男性(89.7%)、女性(89.9%)ともに9割弱となり、差は見られなかった。参加方法について、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は女性(4.4%)が男性(3.3%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、「参加した経験はない」は30歳代(100.0%)で最も多く、次いで10・20歳以上(98.6%)と続いた。「電話やFAX、電子メールでの意見提出」、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」、「市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出」、「委員会や審議会などの公募委員としての参加」、「その他」を合わせた『参加した経験がある』は70歳以上(13.1%)で最も多く、次いで60歳代(10.6%)と続いた。参加方法については、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」が70歳以上(6.6%)で最も多かった。「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は60歳代(3.4%)で最も多く、次いで40歳代(2.4%)と続いた。
- ◇ 居住年数別では、「参加した経験はない」は1年未満(100.0%)で最も多く、20年未満(87.3%)で最も少なかった。『参加経験がある』は30年以上(9.5%)で最も多く、次いで5年未満(8.4%)、20年未満(8.1%)と続いた。参加方法について、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は10年未満(5.9%)が最も多かった。
- ◇ 職業別では、「参加した経験はない」は学生(96.4%)で最も多く、次いで会社員(95.7%)と続いた。参加方法について、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」はその他(9.4%)、主婦・主夫(パートなど)(7.2%)の順で多く、「電話やFAX、電子メールでの意見提出」ではその他(5.7%)、主婦・主夫(パートなど)(4.1%)の順で続いた。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、「参加した経験はない」は戸畑区(96.9%)で最も多く、最も少ない門司区(83.6%)との差は13.3ポイントであった。参加方法について、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は門司区(7.3%)で最も多く、同様に「電話やFAX、電子メールでの意見提出」も門司区(3.6%)で最も多かった。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「参加した経験はない」は今年度(89.6%)が平成26年度(86.5%)を上回っている。一方、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は平成26年度(6.4%)が今年度(4.0%)を上回っている。また、「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は平成26年度(2.7%)が今年度(2.1%)を上回っている。

(13) 市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感

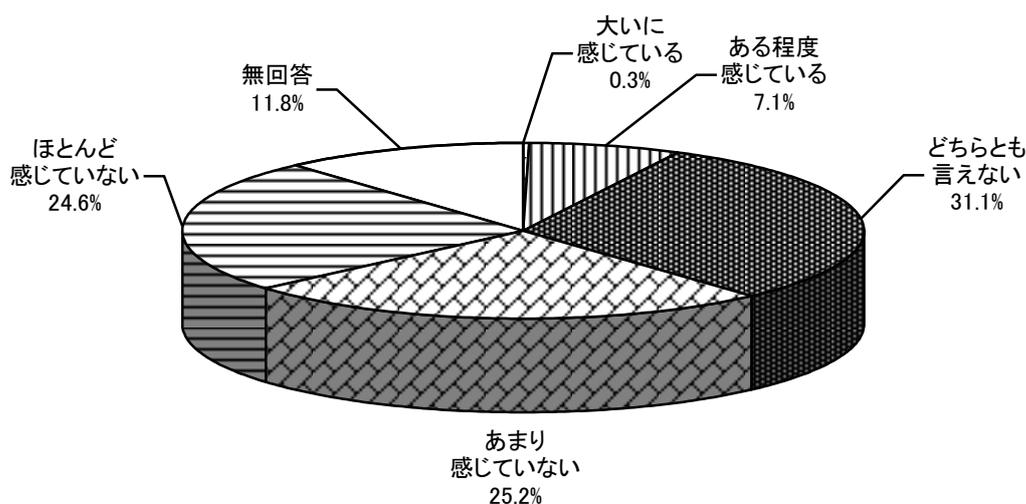
問 13 あなたは、あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,053 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 大いに感じている	3	0.3
2 ある程度感じている	75	7.1
3 どちらとも言えない	327	31.1
4 あまり感じていない	265	25.2
5 ほとんど感じていない	259	24.6
無回答	124	11.8

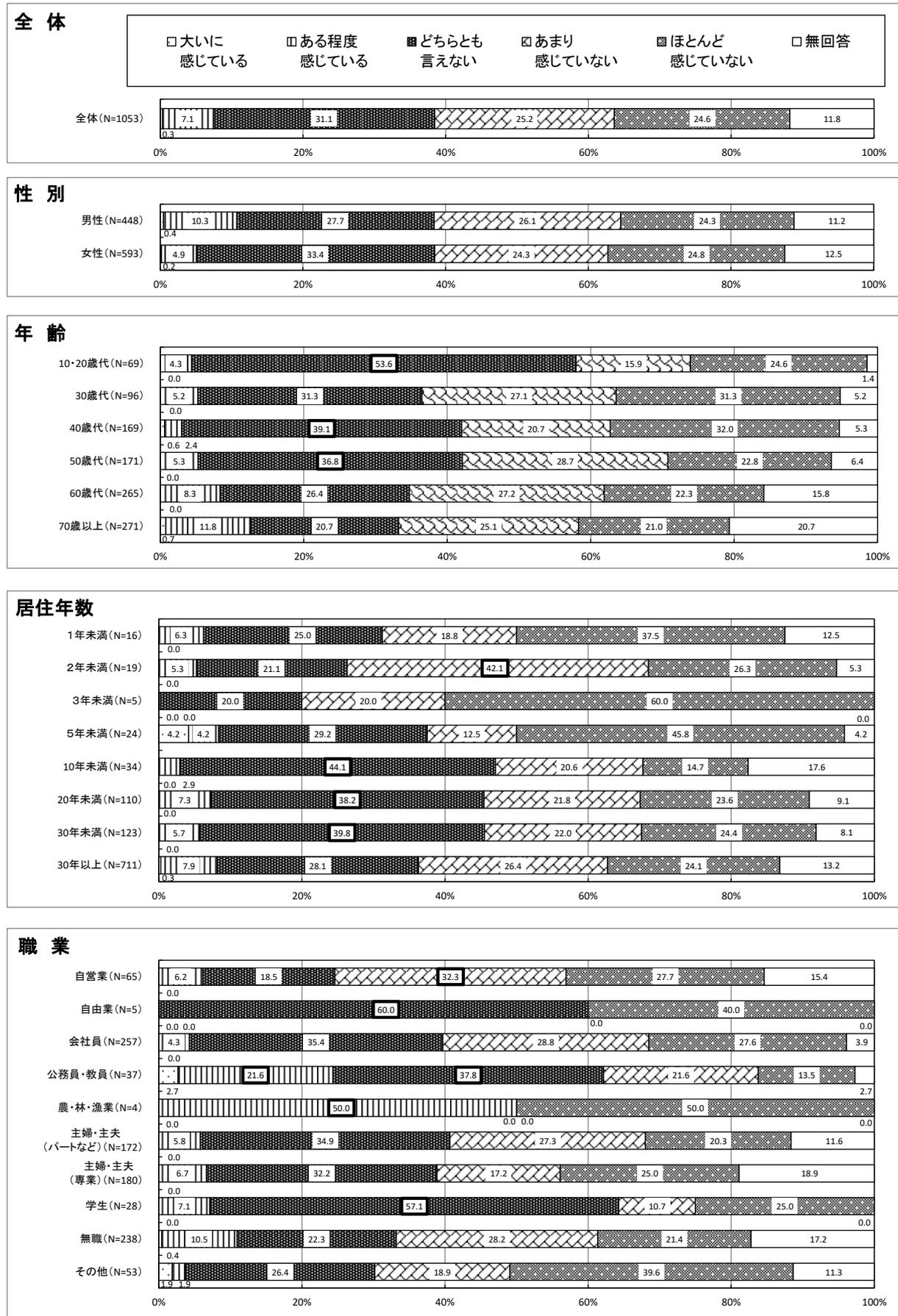
◇ あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じるかは、

- 1位 「どちらとも言えない」(31.1%)
- 2位 「あまり感じていない」(25.2%)
- 3位 「ほとんど感じていない」(24.6%)



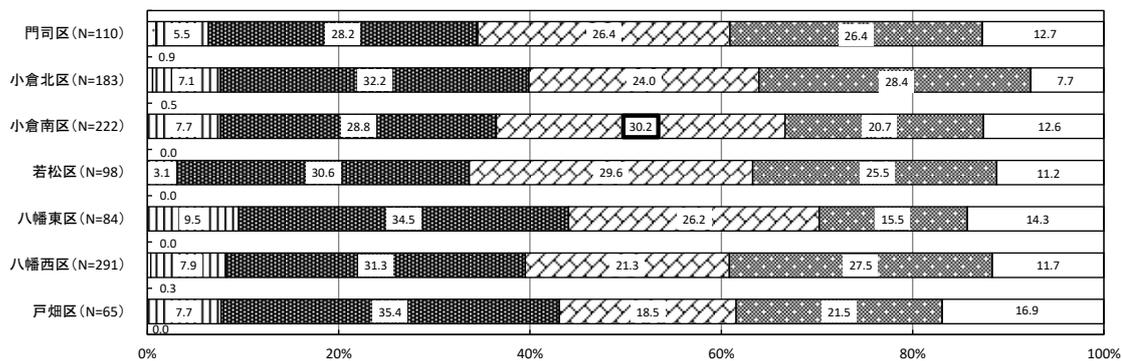
大いに感じている   
  ある程度感じている   
  どちらとも言えない   
  あまり感じていない   
  ほとんど感じていない   
  無回答

### 問 13 市民の意見等が市政に反映されていることへの満足感

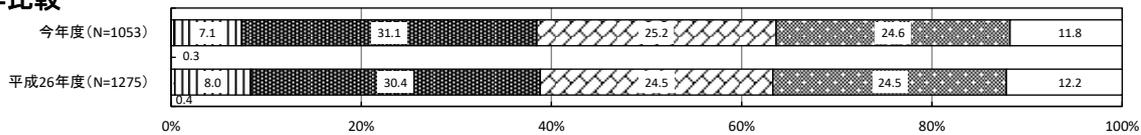


## 居住区

大いに感じている
  ある程度感じている
  どちらとも言えない
  あまり感じていない
  ほとんど感じていない
  無回答



## 経年比較



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

### 【全体的傾向】

あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じるかは、「どちらとも言えない」(31.1%)が最も多く、次いで「あまり感じていない」(25.2%)、「ほとんど感じていない」(24.6%)と続いている。「大いに感じている」(0.3%)と「ある程度感じている」(7.1%)を合わせた『感じている』は7.4%と1割未満にとどまった。一方、「あまり感じていない」と「ほとんど感じていない」を合わせた『感じていない』は49.8%と約5割となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「どちらとも言えない」が最も多く、女性(33.4%)が男性(27.7%)を上回った。『感じている』は男性(10.7%)が女性(5.1%)を上回り、『感じていない』でも男性(50.4%)が女性(49.1%)をわずかに上回った。
- ◇ 年齢別では、「どちらとも言えない」は10・20歳代(53.6%)で最も多く、次いで40歳代(39.1%)が続いた。「あまり感じていない」は50歳代(28.7%)で最も多く、次いで60歳代(27.2%)が続いた。また、「ほとんど感じていない」は40歳代(32.0%)で最も多く、次いで30歳代(31.3%)が続いた。『感じている』では70歳以上(12.5%)で最も多く、唯一1割を上回った。『感じていない』は30歳代(58.4%)で最も多く、最も少ない10・20歳代(40.5%)を含む全ての年齢層で4割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、「どちらとも言えない」は10年未満(44.1%)が最も多く、唯一4割以上となった。『感じている』は5年未満(8.4%)で最も多く、次いで30年以上(8.2%)が続いている。『感じていない』は2年未満(68.4%)で最も多く、最も少ない10年未満(35.3%)とは33.1ポイントの差がある。
- ◇ 職業別では、「どちらとも言えない」は学生(57.1%)で最も多く、次いで公務員・教員(37.8%)が続いている。『感じている』は公務員・教員(24.3%)で最も多く、次いで無職(10.9%)と続き、これらの職業層で1割を上回った。『感じていない』は自営業(60.0%)で最も多く、次いでその他(58.5%)、会社員(56.4%)と続き、これらの職業層で5割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、「どちらとも言えない」は戸畑区(35.4%)で最も多く、次いで八幡東区(34.5%)、小倉北区(32.2%)となっている。『感じている』は八幡東区(9.5%)で最も多く、次いで八幡西区(8.2%)が続いた。『感じていない』は若松区(55.1%)で最も多く、最も少ない戸畑区(40.0%)を含む全ての区で4割を上回った。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「どちらとも言えない」は今年度(31.1%)が平成26年度(30.4%)を上回っている。一方、『感じている』は平成26年度(8.4%)が今年度(7.4%)を上回っている。また、『感じていない』では今年度(49.8%)が平成26年度(49.0%)を上回る結果となった。

(13) -1 反映されていないと感じる理由

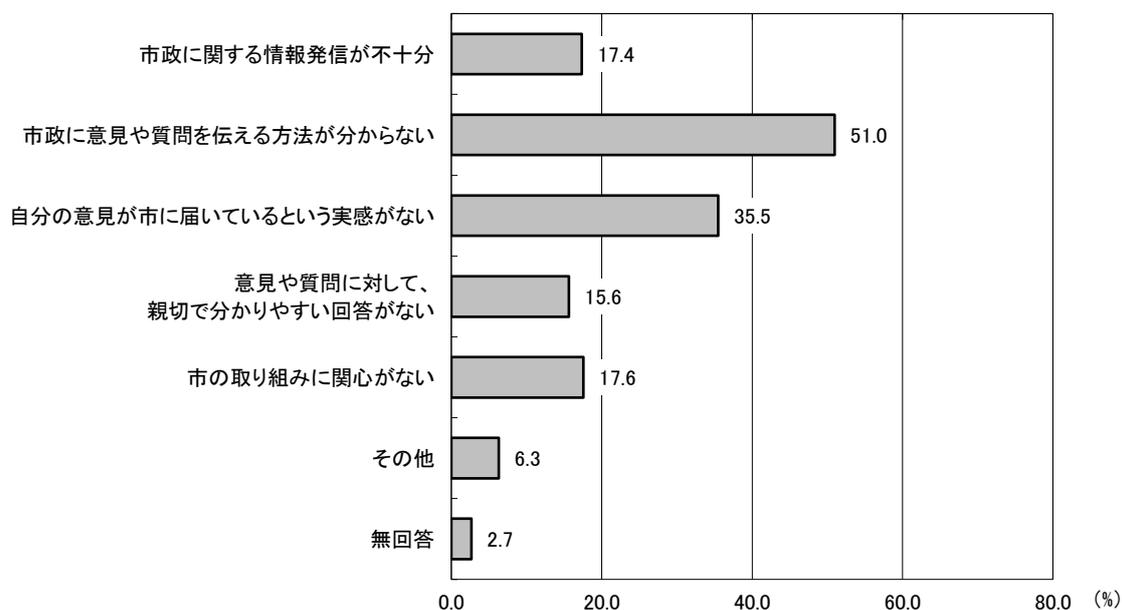
副問 13-1 問 13 で 4 もしくは 5 を選んだ理由について、次の中から 2 つまで選んでください。

N : 524 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 市政に関する情報発信が不十分	91	17.4
2 市政に意見や質問を伝える方法が分からない	267	51.0
3 自分の意見が市に届いているという実感がない	186	35.5
4 意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答がない	82	15.6
5 市の取り組みに関心がない	92	17.6
6 その他	33	6.3
無回答	14	2.7

◇ あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると「あまり感じていない」「ほとんど感じていない」と思う理由は、

- 1 位 「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」 (51.0%)
- 2 位 「自分の意見が市に届いているという実感がない」 (35.5%)
- 3 位 「市の取り組みに関心がない」 (17.6%)



副問 13-1 反映されていないと感じる理由

(件・%)

		サンプル数	市政に関する情報発信が不十分	ない 市政に意見や質問を伝える方法が分から	自分の意見が市に届いているという実感がない	意見や質問に対して、親切で分かりやすい回答がない	市の取り組みに関心がない	その他	無回答
全体		524	17.4	51.0	35.5	15.6	17.6	6.3	2.7
性別	男性	226	19.0	50.9	37.2	15.0	15.5	7.5	2.7
	女性	291	16.2	51.2	34.7	15.8	18.6	5.2	2.7
年齢別	10・20歳代	28	10.7	<b>57.1</b>	<b>42.9</b>	7.1	<b>42.9</b>	0.0	0.0
	30歳代	56	17.9	<b>62.5</b>	30.4	10.7	17.9	3.6	5.4
	40歳代	89	18.0	48.3	<b>46.1</b>	18.0	15.7	4.5	1.1
	50歳代	88	17.0	50.0	36.4	17.0	13.6	4.5	2.3
	60歳代	131	19.1	49.6	32.1	14.5	13.7	9.2	3.8
	70歳以上	125	16.8	48.8	32.8	17.6	18.4	8.8	2.4
居住年数別	1年未満	9	0.0	33.3	33.3	11.1	22.2	22.2	11.1
	2年未満	13	<b>30.8</b>	53.8	15.4	0.0	15.4	7.7	7.7
	3年未満	4	<b>25.0</b>	<b>75.0</b>	0.0	<b>25.0</b>	<b>25.0</b>	0.0	0.0
	5年未満	14	14.3	42.9	14.3	7.1	<b>35.7</b>	0.0	0.0
	10年未満	12	8.3	<b>66.7</b>	8.3	0.0	<b>41.7</b>	8.3	0.0
	20年未満	50	18.0	44.0	40.0	20.0	22.0	10.0	0.0
	30年未満	57	12.3	42.1	<b>43.9</b>	14.0	19.3	5.3	5.3
	30年以上	359	18.4	53.2	36.8	16.4	14.8	5.8	2.5
職業別	自営業	39	<b>30.8</b>	53.8	33.3	10.3	17.9	0.0	2.6
	自由業	2	0.0	50.0	<b>50.0</b>	0.0	<b>50.0</b>	0.0	0.0
	会社員	145	17.2	53.8	35.9	<b>21.4</b>	12.4	3.4	2.1
	公務員・教員	13	7.7	30.8	<b>61.5</b>	<b>30.8</b>	15.4	7.7	0.0
	農・林・漁業	2	0.0	50.0	0.0	<b>50.0</b>	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	82	11.0	45.1	39.0	11.0	20.7	4.9	6.1
	主婦・主夫(専業)	76	14.5	<b>59.2</b>	34.2	13.2	13.2	6.6	2.6
	学生	10	0.0	40.0	<b>50.0</b>	10.0	<b>50.0</b>	0.0	0.0
	無職	118	20.3	45.8	30.5	13.6	19.5	13.6	2.5
	その他	31	<b>25.8</b>	<b>61.3</b>	38.7	12.9	<b>22.6</b>	6.5	0.0
居住区別	門司区	58	<b>27.6</b>	<b>56.9</b>	39.7	19.0	12.1	5.2	0.0
	小倉北区	96	10.4	50.0	34.4	13.5	<b>22.9</b>	5.2	2.1
	小倉南区	113	21.2	<b>61.1</b>	28.3	17.7	15.9	6.2	1.8
	若松区	54	<b>24.1</b>	42.6	31.5	16.7	16.7	5.6	3.7
	八幡東区	35	14.3	51.4	40.0	14.3	<b>22.9</b>	2.9	5.7
	八幡西区	142	12.7	47.9	38.7	15.5	15.5	7.0	4.2
	戸畑区	26	19.2	30.8	<b>46.2</b>	7.7	<b>23.1</b>	15.4	0.0
経年比較									
平成26年度	全体	625	18.2	55.5	34.4	13.9	13.6	7.0	1.8

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)

## 反映されていないと感じる理由

### 【全体的傾向】

あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると「あまり感じていない」「ほとんど感じていない」と思う理由は、「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」(51.0%)が最も多く、5割強となっている。次いで「自分の意見が市に届いているという実感がない」(35.5%)、「市の取り組みに関心がない」(17.6%)の順になっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」が最も多く、女性(51.2%)が男性(50.9%)を上回った。総合2位の「自分の意見が市に届いているという実感がない」は男性(37.2%)が女性(34.7%)を上回った。総合3位の「市の取り組みに関心がない」は女性(18.6%)が男性(15.5%)を上回っている。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」は30歳代(62.5%)で最も多く、次いで10・20歳代(57.1%)が続いている。総合2位の「自分の意見が市に届いているという実感がない」は40歳代(46.1%)で最も多く、次いで10・20歳代(42.9%)が続いている。総合3位の「市の取り組みに関心がない」は10・20歳代(42.9%)で最も多く、唯一4割を超えている。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」は10年未満(66.7%)で最も多く、唯一6割以上を占めた。総合2位の「自分の意見が市に届いているという実感がない」は30年未満(43.9%)で最も多く、次いで20年未満(40.0%)、30年以上(36.8%)と続いた。総合3位の「市の取り組みに関心がない」は10年未満(41.7%)で最も多く、最も少ない30年以上(14.8%)を含む全ての年齢層で1割以上を占めた。
- ◇ 職業別では、総合1位の「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」はその他(61.3%)で最も多く、次いで主婦・主夫(専業)(59.2%)と続いた。総合2位の「自分の意見が市に届いているという実感がない」は公務員・教員(61.5%)で最も多く、総合3位の「市の取り組みに関心がない」は学生(50.0%)で最も多かった。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」は小倉南区(61.1%)で最も多く、門司区(56.9%)が続いている。総合2位「自分の意見が市に届いているという実感がない」は戸畑区(46.2%)で最も多く、次いで八幡東区(40.0%)と続き、これらの区で4割を上回った。「市の取り組みに関心がない」は戸畑区(23.1%)で最も多く、次いで小倉北区及び八幡東区(各22.9%)が続いた。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「市政に意見や質問を伝える方法が分からない」は平成26年度(55.5%)が今年度(51.0%)を上回っている。「自分の意見が市に届いているという実感がない」は今年度(35.5%)が平成26年度(34.4%)を上回っている。また、「市の取り組みに関心がない」では今年度(17.6%)が平成26年度(13.6%)を上回る結果となった。

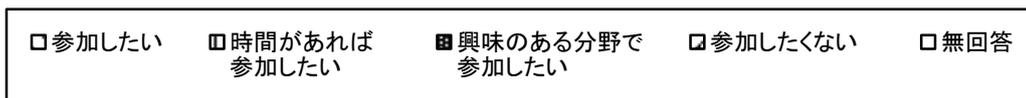
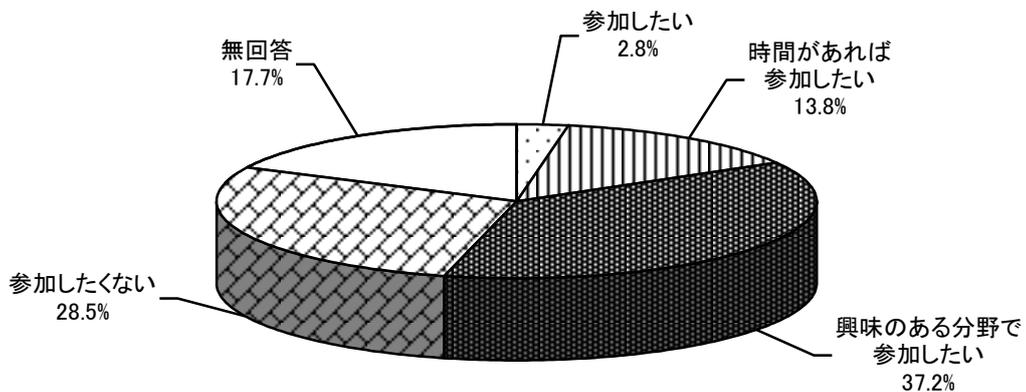
(14) 市政に意見等を提出したいと考えるか

問 14 あなたは、今後（または今後も）市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

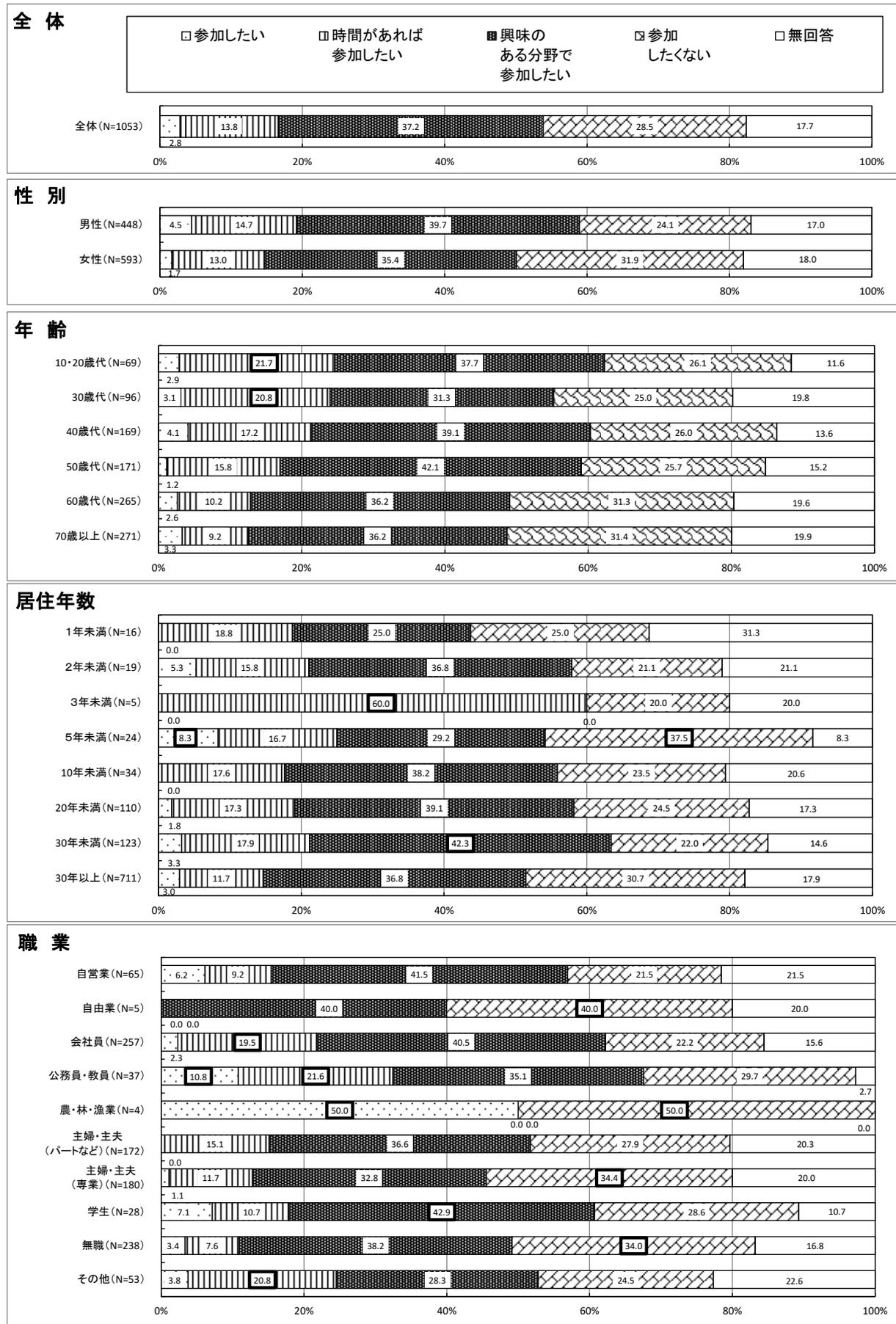
N : 1,053 人

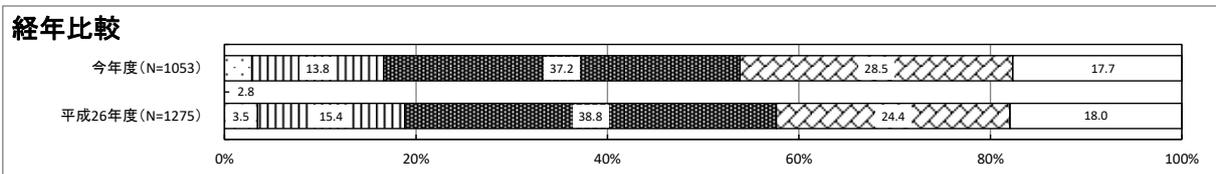
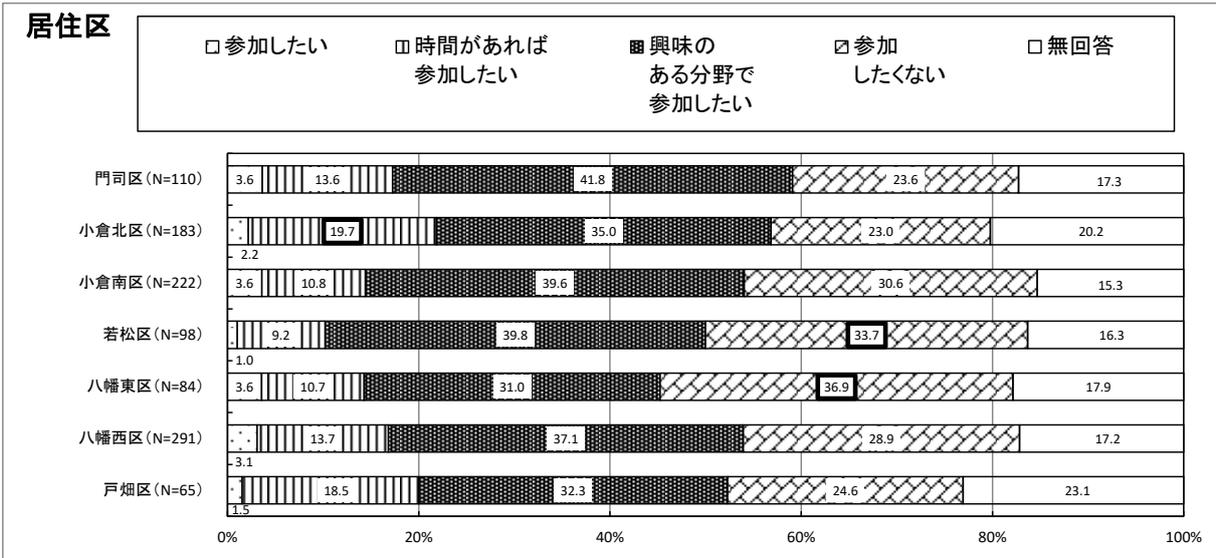
項目	回答数（人）	割合（%）
1 参加したい	30	2.8
2 時間があれば参加したい	145	13.8
3 興味のある分野で参加したい	392	37.2
4 参加したくない	300	28.5
無回答	186	17.7

- ◇ 今後（または今後も）市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思うかは、
- 1位 「興味のある分野で参加したい」（37.2%）
  - 2位 「参加したくない」（28.5%）
  - 3位 「時間があれば参加したい」（13.8%）



問 14 市政に意見等を提出したいと考えるか





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

## 市政に意見等を提出したいと考えるか

### 【全体的傾向】

今後（または今後も）市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思うかは、「興味のある分野で参加したい」（37.2%）が最も多く、次いで「参加したくない」（28.5%）、「時間があれば参加したい」（13.8%）の順となっている。「参加したい」（2.8%）と「時間があれば参加したい」「興味のある分野で参加したい」を合わせた『参加したい』は53.8%で、5割強となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、総合1位の「興味のある分野で参加したい」は男性（39.7%）が女性（35.4%）を上回った。総合3位の「時間があれば参加したい」も男性（14.7%）が女性（13.0%）を上回った。『参加したい』も男性（58.9%）が女性（50.1%）を上回り、総合2位の「参加したくない」は女性（31.9%）が男性（24.1%）を上回った。男性が女性よりも市民参画の意向が強い傾向が見られた。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「興味のある分野で参加したい」は50歳代（42.1%）で最も多く、次いで40歳代（39.1%）、10・20歳代（37.7%）と続いた。総合3位の「時間があれば参加したい」は10・20歳代（21.7%）で最も多かった。『参加したい』は10・20歳代（62.3%）で最も多く、次いで40歳代（60.4%）、50歳代（59.1%）が続いた。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「興味のある分野で参加したい」は30年未満（42.3%）で最も多く、次いで20年未満（39.1%）が続いた。『参加したい』は30年未満（63.5%）で最も多く、次いで20年未満（58.2%）、2年未満（57.9%）と続いた。
- ◇ 職業別では、総合1位の「興味のある分野で参加したい」は学生（42.9%）で最も多く、次いで自営業（41.5%）、会社員（40.5%）、無職（38.2%）と続いた。総合3位の「時間があれば参加したい」は公務員・教員（21.6%）で最も多く、次いでその他（20.8%）、会社員（19.5%）と続いた。積極的意向である「参加したい」は公務員・教員（10.8%）で最も多く、次いで学生（7.1%）が続いた。『参加したい』は公務員・教員（67.5%）で最も多く、次いで会社員（62.3%）、学生（60.7%）と続き、これらの職業層で6割を上回った。最も少ないのは主婦・主夫（専業）（45.6%）で、唯一5割を下回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「興味のある分野で参加したい」は門司区（41.8%）で最も多く、次いで若松区（39.8%）、小倉南区（39.6%）と続いた。総合3位の「時間があれば参加したい」は小倉北区（19.7%）で最も多く、最も少ない若松区（9.2%）との差は10.5ポイントであった。『参加したい』は門司区（59.0%）で最も多く、最も少ない八幡東区（45.3%）との差は13.7ポイントであった。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「興味のある分野で参加したい」は平成26年度（38.8%）が今年度（37.2%）を上回っている。また、『参加したい』も平成26年度（57.7%）が今年度（53.8%）を上回っている

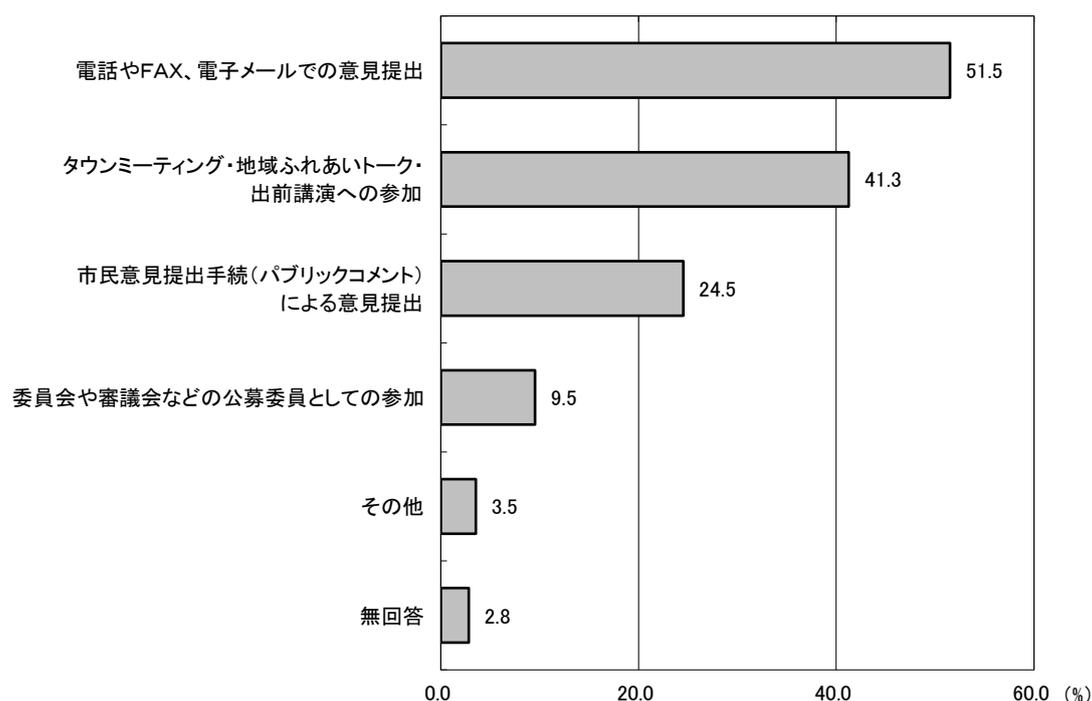
(14) -1 どのような方法で市政に意見等を提出したいか

副問 14-1 問 14 で 1、2、3 を選んだ方におたずねします。あなたが参加するとすれば、どのような方法で参加したいですか。参加したいと思うものを 2 つまで選んでください。

N : 567 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 電話やFAX、電子メールでの意見提出	292	51.5
2 タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加	234	41.3
3 市民意見提出手続 (パブリックコメント) による意見提出	139	24.5
4 委員会や審議会などの公募委員としての参加	54	9.5
5 その他	20	3.5
無回答	16	2.8

- ◇ 市政に対して意見や提案をしたい (市民参画) と思う方法は、
- 1 位 「電話やFAX、電子メールでの意見提出」 (51.5%)
  - 2 位 「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」 (41.3%)
  - 3 位 「市民意見提出手続 (パブリックコメント) による意見提出」 (24.5%)



副問 14-1 どういった方法で市政に意見等を提出したいか

(件・%)

		サンプル数	電話やFAX、電子メールでの意見提出	タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加	市民意見提出手続(パブリックコメント)による意見提出	加委員会や審議会などの公募委員として参	その他	無回答
全体		567	51.5	41.3	24.5	9.5	3.5	2.8
性別	男性	264	51.1	37.9	<b>29.9</b>	11.4	4.9	2.7
	女性	297	52.5	43.8	19.5	8.1	2.4	3.0
年齢別	10・20歳代	43	<b>65.1</b>	14.0	<b>39.5</b>	7.0	2.3	0.0
	30歳代	53	<b>60.4</b>	32.1	26.4	7.5	7.5	0.0
	40歳代	102	<b>57.8</b>	35.3	20.6	12.7	1.0	1.0
	50歳代	101	<b>57.4</b>	39.6	18.8	8.9	2.0	3.0
	60歳代	130	50.8	<b>53.8</b>	19.2	10.0	3.1	2.3
	70歳以上	132	36.4	46.2	<b>31.1</b>	9.1	6.1	6.8
居住年数別	1年未満	7	<b>85.7</b>	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0
	2年未満	11	45.5	45.5	18.2	9.1	<b>18.2</b>	0.0
	3年未満	3	<b>100.0</b>	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年未満	13	46.2	30.8	15.4	7.7	7.7	0.0
	10年未満	19	<b>57.9</b>	36.8	15.8	10.5	0.0	0.0
	20年未満	64	56.3	42.2	26.6	14.1	1.6	0.0
	30年未満	78	<b>57.7</b>	33.3	28.2	7.7	3.8	0.0
	30年以上	366	48.9	43.2	24.6	9.6	3.6	4.4
職業別	自営業	37	54.1	40.5	<b>29.7</b>	<b>16.2</b>	0.0	0.0
	自由業	2	50.0	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	0.0	0.0	0.0
	会社員	160	<b>60.6</b>	36.9	25.6	9.4	3.1	0.6
	公務員・教員	25	40.0	28.0	28.0	<b>28.0</b>	8.0	0.0
	農・林・漁業	2	50.0	<b>50.0</b>	0.0	<b>50.0</b>	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	89	<b>57.3</b>	44.9	15.7	4.5	2.2	3.4
	主婦・主夫(専業)	82	46.3	<b>48.8</b>	20.7	4.9	2.4	3.7
	学生	17	<b>58.8</b>	17.6	<b>41.2</b>	11.8	5.9	0.0
	無職	117	43.6	40.2	26.5	10.3	6.0	6.0
その他	28	42.9	<b>53.6</b>	28.6	10.7	0.0	7.1	
居住区別	門司区	65	46.2	46.2	23.1	13.8	4.6	1.5
	小倉北区	104	50.0	37.5	26.0	8.7	5.8	2.9
	小倉南区	120	52.5	41.7	25.8	6.7	3.3	1.7
	若松区	49	55.1	40.8	22.4	8.2	4.1	4.1
	八幡東区	38	55.3	<b>50.0</b>	23.7	2.6	0.0	5.3
	八幡西区	157	49.7	40.1	24.2	12.1	3.2	3.2
	戸畑区	34	<b>61.8</b>	38.2	23.5	11.8	0.0	2.9
経年比較								
平成26年度	全体	735	45.4	<b>47.1</b>	24.5	11.2	3.0	4.4

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)

## どういった方法で市政に意見等を提出したいか

### 【全体的傾向】

市政に対して意見や提案をしたい（市民参画）と思う方法は、「電話やFAX、電子メールでの意見提出」（51.5%）が最も多く、次いで「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」（41.3%）が続き、これらは4割以上となっている。以下、「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」（24.5%）、「委員会や審議会などの公募委員としての参加」（9.5%）となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、総合1位の「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は女性（52.5%）が男性（51.1%）を上回った。総合2位の「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」も女性（43.8%）が男性（37.9%）を上回った。総合3位の「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は男性（29.9%）が女性（19.5%）を上回っている。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は10・20歳代（65.1%）で最も多く、次いで30歳代（60.4%）が続いた。総合2位の「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は60歳代（53.8%）で最も多く、次いで70歳以上（46.2%）となった。総合3位の「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は10・20歳以上（39.5%）で最も多く、最も少ない50歳代（18.8%）とは20.7ポイントの差となった。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は10年未満（57.9%）で最も多かった。総合2位の「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は2年未満（45.5%）で最も多く、次いで30年以上（43.2%）、20年未満（42.2%）と続き、これらの居住年数層で4割を上回った。総合3位の「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は30年未満（28.2%）で最も多く、次いで20年未満（26.6%）が続いた。
- ◇ 職業別では、総合1位の「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は会社員（60.6%）で最も多く、次いで学生（58.8%）が続いた。総合2位の「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」はその他（53.6%）で最も多かった。総合3位の「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は学生（41.2%）で最も多く、次いで自営業（29.7%）、その他（28.6%）と続いた。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は戸畑区（61.8%）で最も多く、次いで八幡東区（55.3%）、若松区（55.1%）と続いた。総合2位の「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は八幡東区（50.0%）で最も多く、最も少ない小倉北区（37.5%）との差は12.5ポイントであった。総合3位の「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」は小倉北区（26.0%）で最も多く、最も少ない若松区（22.4%）を含む全ての区で2割を上回った。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「電話やFAX、電子メールでの意見提出」は今年度（51.5%）が平成26年度（45.4%）を上回っている。一方、「タウンミーティング・地域ふれあいトーク・出前講演への参加」は平成26年度（47.1%）が今年度（41.3%）を上回っている。また、「市民意見提出手続（パブリックコメント）による意見提出」では今年度（24.5%）と平成26年度（24.5%）は同率であった。

(14) -2 市政に意見等を提出しようと思わない理由

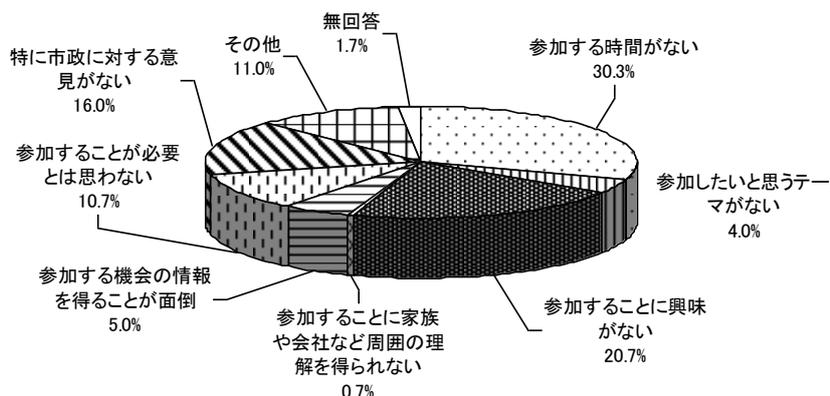
副問 14-2 問 14 で 4 を選んだ方におたずねします。4 を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から 1 つだけ選んでください。

N : 300 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 参加する時間がない	91	30.3
2 参加したいと思うテーマがない	12	4.0
3 参加することに興味がない	62	20.7
4 参加することに家族や会社など周囲の理解を得られない	2	0.7
5 参加する機会の情報を得ることが面倒	15	5.0
6 参加することが必要とは思わない	32	10.7
7 特に市政に対する意見がない	48	16.0
8 その他	33	11.0
無回答	5	1.7

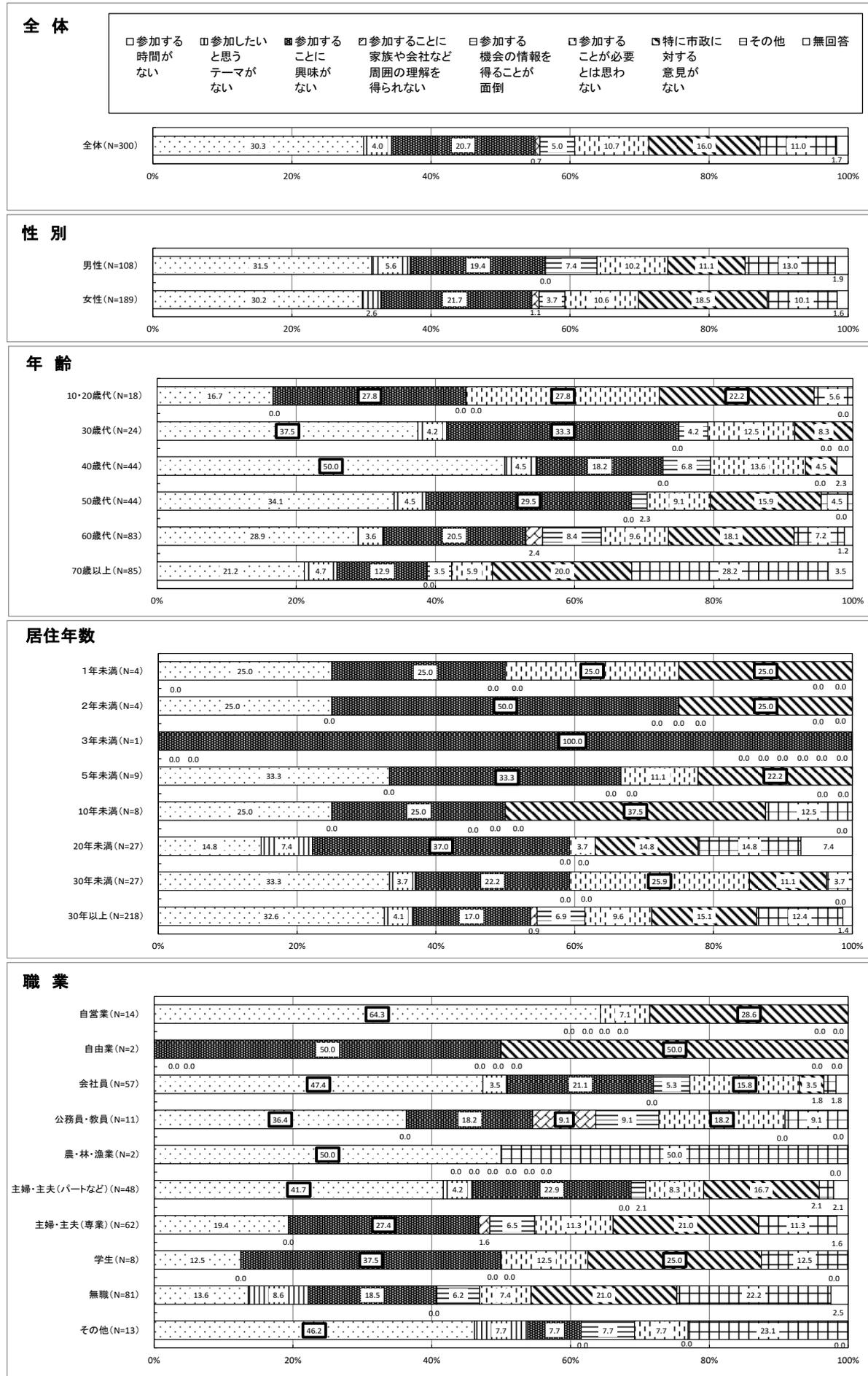
◇ 今後（または今後も）市政に対して意見や提案をする（市民参画）ことに、「参加したくない」と思う理由は、

- 1 位 「参加する時間がない」 (30.3%)
- 2 位 「参加することに興味がない」 (20.7%)
- 3 位 「特に市政に対する意見がない」 (16.0%)



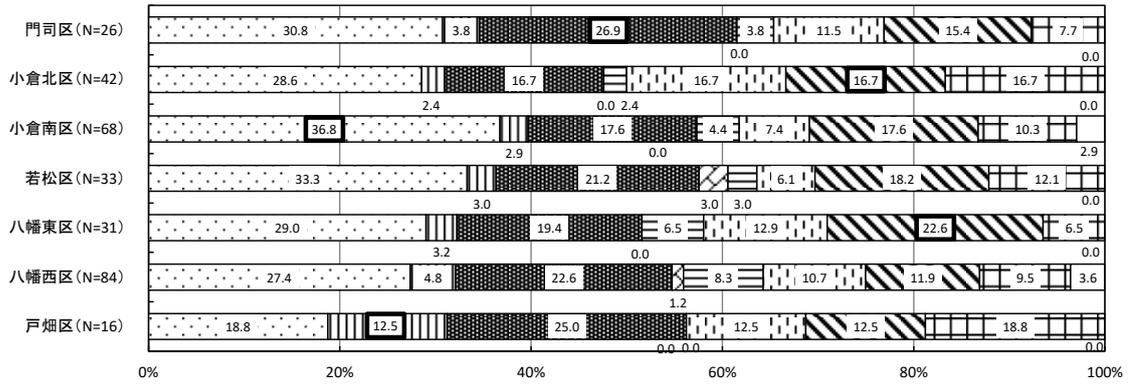
- 参加する時間がない
- 参加したいと思うテーマがない
- 参加することに興味がない
- 参加することに家族や会社など周囲の理解を得られない
- 参加する機会の情報を得ることが面倒
- 参加することが必要とは思わない
- 特に市政に対する意見がない
- その他
- 無回答

## 副問 14-2 市政に意見等を提出しようと思わない理由

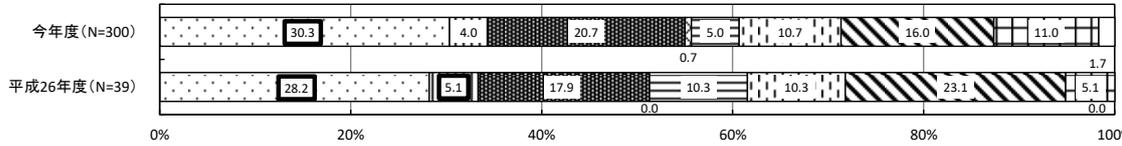


## 居住区

参加する時間が  
ない  
 参加したい  
と思う  
テーマが  
ない  
 参加する  
ことに  
興味が  
ない  
 参加することに  
家族や会社など  
周囲の理解を  
得られない  
 参加する  
機会の情報を  
得ることが  
面倒  
 参加する  
ことが必要  
とは思わ  
ない  
 特に市政に  
対する  
意見が  
ない  
 その他  
 無回答



## 経年比較



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

## 市政に意見等を提出しようと思わない理由

### 【全体的傾向】

市政に対して意見や提案をする（市民参画）ことに、「参加したくない」と思う理由は、「参加する時間がない」（30.3%）が最も多く、次いで「参加することに興味がない」（20.7%）、「特に市政に対する意見がない」（16.0%）の順となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「参加する時間がない」が最も多く、男性（31.5%）が女性（30.2%）を上回った。総合2位の「参加することに興味がない」では、女性（21.7%）が男性（19.4%）を上回った。また、総合3位の「特に市政に対する意見がない」でも、女性（18.5%）が男性（11.1%）を上回っている。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「参加する時間がない」は40歳代（50.0%）で最も多く、次いで30歳代（37.5%）、50歳代（34.1%）と続いた。総合2位の「参加することに興味がない」は30歳代（33.3%）で最も多く、最も少ない70歳以上（12.9%）との差は20.4ポイントとなった。総合3位の「特に市政に対する意見がない」は10・20歳代（22.2%）で最も多く、最も少ない40歳代（4.5%）との差は17.7ポイントとなった。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「参加する時間がない」は30年未満（33.3%）で最も多かった。総合2位の「参加することに興味がない」は30年以上（17.0%）で最も少なく、20年未満（37.0%）で最も多くなった。総合3位の「特に市政に対する意見がない」は30年以上（15.1%）で最も多く、次いで20年未満（14.8%）が続いた。
- ◇ 職業別では、総合1位の「参加する時間がない」は自営業（64.3%）で最も多く、次いで会社員（47.4%）が続いた。総合2位の「参加することに興味がない」は主婦・主夫（専業）（27.4%）で最も多く、最も少ない自営業（0.0%）との差は27.4ポイントとなった。「特に市政に対する意見がない」は自営業（28.6%）で最も多かった。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「参加する時間がない」は小倉南区（36.8%）で最も多く、次いで若松区（33.3%）が続いた。総合2位の「参加することに興味がない」は門司区（26.9%）で最も多かった。総合3位の「特に市政に対する意見がない」は八幡東区（22.6%）で最も多く、最も少ない八幡西区（11.9%）との差は10.7ポイントとなった。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「参加する時間がない」は今年度（30.3%）が平成26年度（28.2%）を上回っている。「参加することに興味がない」も今年度（20.7%）が平成26年度（17.9%）を上回っている。また、「特に市政に対する意見がない」では平成26年度（23.1%）が今年度（16.0%）を上回る結果となった。

(15) 市民参画を進めるために必要なこと

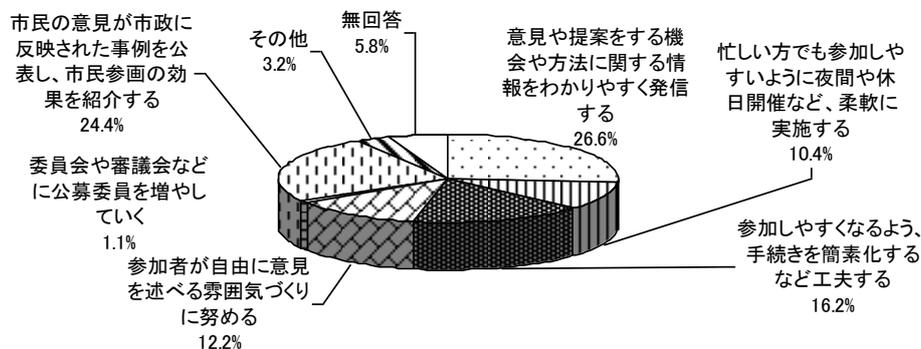
問 15 北九州市において、市政への市民参画を進めるためには、何が重要だと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,053 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する	280	26.6
2 忙しい方でも参加しやすいように夜間や休日開催など、柔軟に実施する	110	10.4
3 参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する	171	16.2
4 参加者が自由に意見を述べる雰囲気づくりに努める	128	12.2
5 委員会や審議会などに公募委員を増やしていく	12	1.1
6 市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する	257	24.4
7 その他	34	3.2
無回答	61	5.8

◇ 市政への市民参画を進めるために必要だと思うことは、

- 1位 「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」 (26.6%)
- 2位 「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」 (24.4%)
- 3位 「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」 (16.2%)



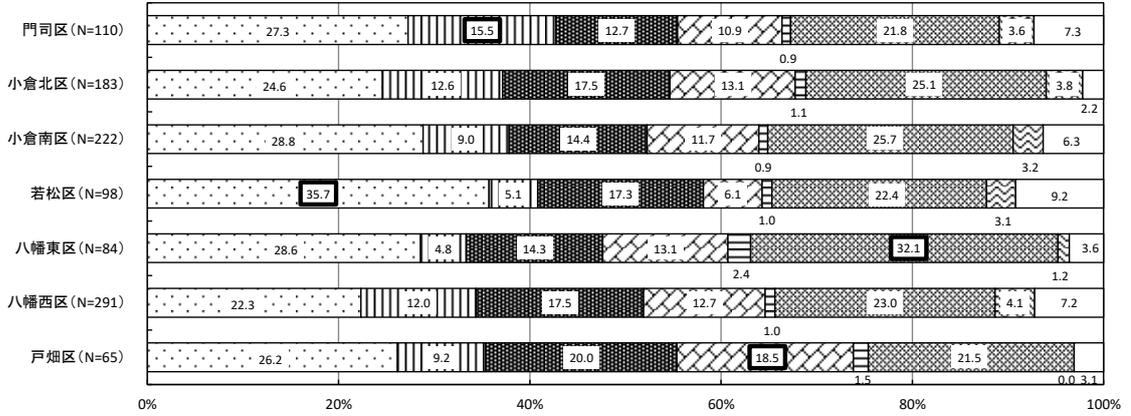
- 意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する
- 忙しい方でも参加しやすいように夜間や休日開催など、柔軟に実施する
- 参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する
- 参加者が自由に意見を述べる雰囲気づくりに努める
- 委員会や審議会などに公募委員を増やしていく
- 市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する
- その他
- 無回答

# 問 15 市民参画を進めるために必要なこと

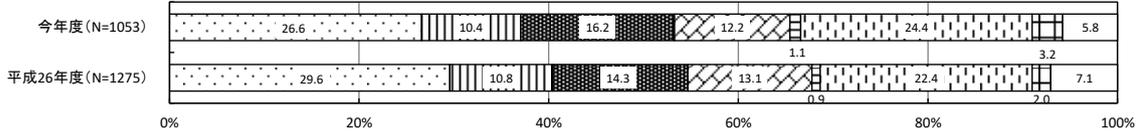


## 居住区

- 意見や提案をする機会や方法にわかりやすく発信する
- 忙しい方でも参加しやすいように夜間や休日開催など、柔軟に実施する
- 参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する
- 参加者が自由に意見を述べる雰囲気づくりに努める
- 委員会や審議会などに公募委員を増やしていく
- 市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する
- その他
- 無回答



## 経年比較



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

## 市民参画を進めるために必要なこと

### 【全体的傾向】

市政への市民参画を進めるために必要だと思うことは、「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」(26.6%)が最も多く、次いで「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」(24.4%)、「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」(16.2%)の順となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」が最も多く、男性(27.7%)が女性(26.0%)を上回った。総合2位の「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は女性(26.3%)が男性(21.2%)を上回った。同様に総合3位の「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」も女性(16.5%)が男性(15.8%)を上回っている。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」は50歳代(35.7%)が最も多く、次いで60歳代(26.4%)が多かった。総合2位の「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は60歳代(29.8%)で最も多く、次いで70歳以上(25.1%)が続いた。総合3位の「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」は10・20歳代(26.1%)で最も多く、唯一2割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」は30年未満(33.3%)で最も多く、次いで10年未満(29.4%)が続いた。総合2位の「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は30年以上(26.4%)が最も多かった。総合3位の「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」は5年未満(29.2%)で最も多かった。
- ◇ 職業別では、総合1位の「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」は自営業(33.8%)で最も多かった。総合2位の「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は公務員・教員(29.7%)で最も多く、総合3位の「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」は学生(28.6%)で最も多かった。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」は若松区(35.7%)で最も多く、次いで小倉南区(28.8%)、八幡東区(28.6%)と続いた。総合2位の「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は八幡東区(32.1%)で最も多く、最も少ない戸畑区(21.5%)との差は10.6ポイントとなった。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「意見や提案をする機会や方法に関する情報をわかりやすく発信する」は平成26年度(29.6%)が今年度(26.6%)を上回っている。「市民の意見が市政に反映された事例を公表し、市民参画の効果を紹介する」は今年度(24.4%)が平成26年度(22.4%)を上回った。また、「参加しやすくなるよう、手続きを簡素化するなど工夫する」でも今年度(16.2%)が平成26年度(14.3%)を上回る結果となった。

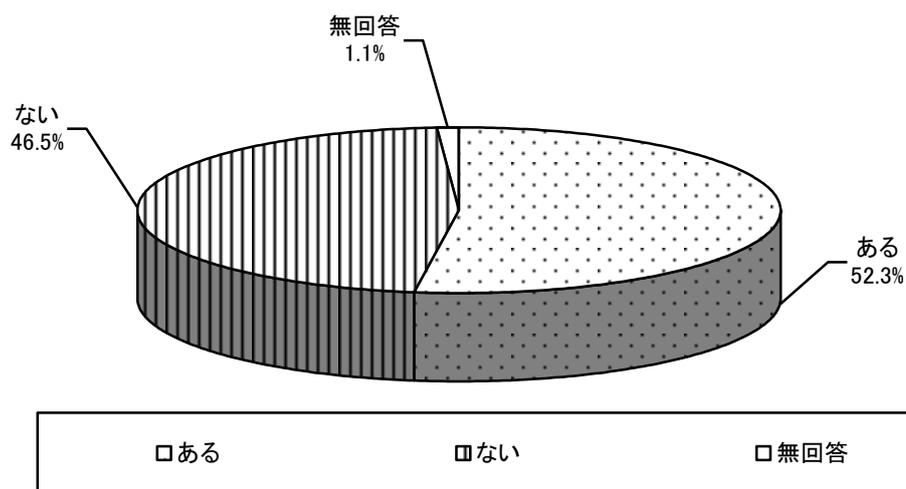
## (16) 地域活動への参加経験の有無

問 16 あなたは、これまでに「地域活動」に参加したことがありますか。どちらか1つだけ選んでください。

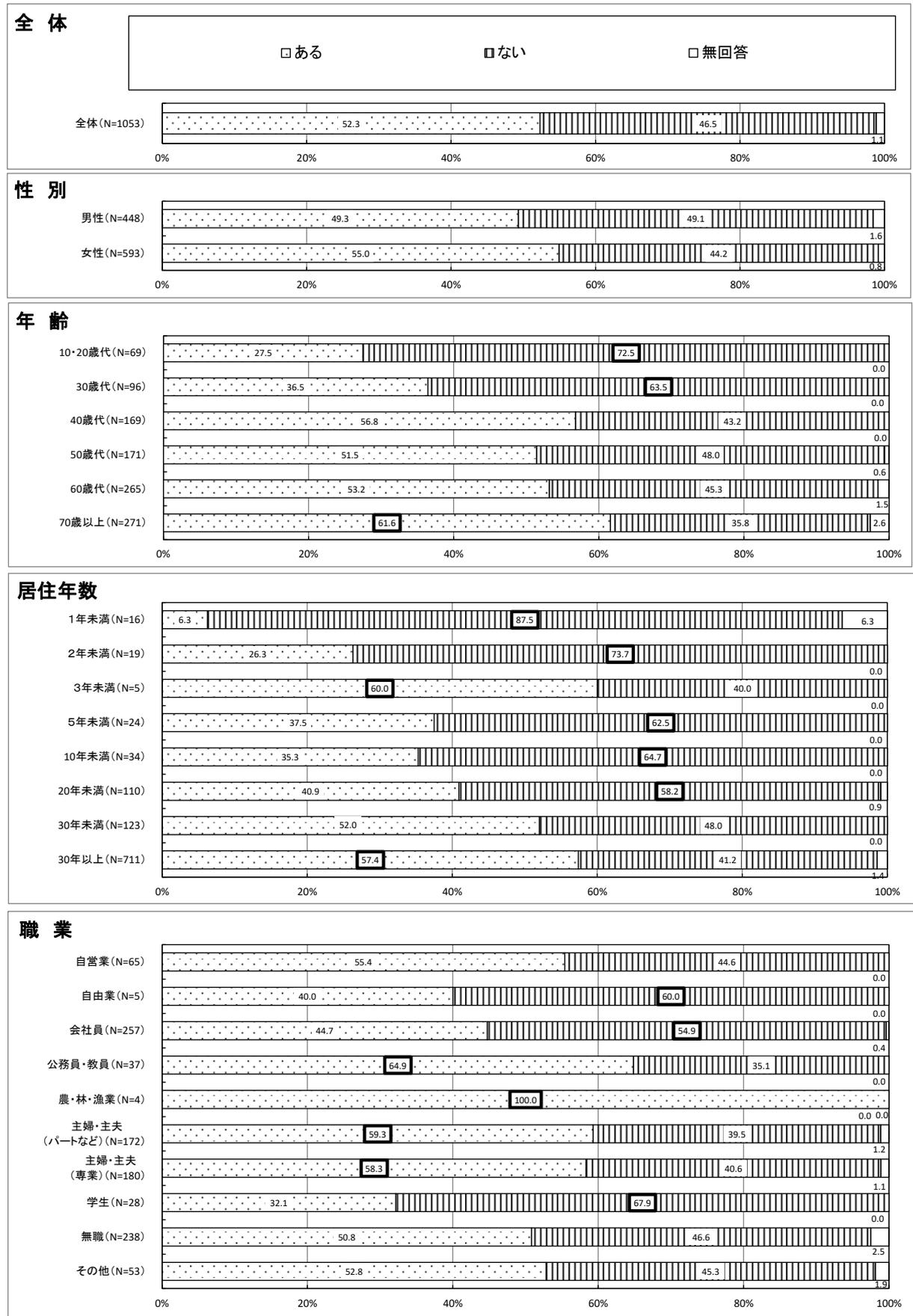
N : 1,053 人

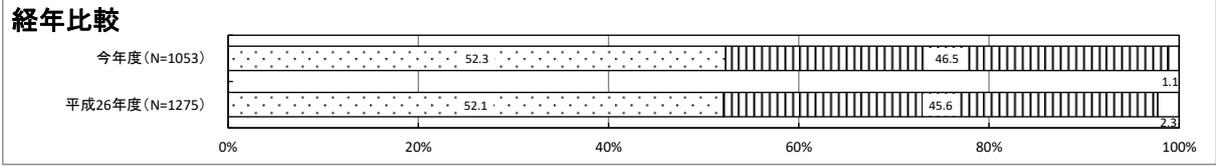
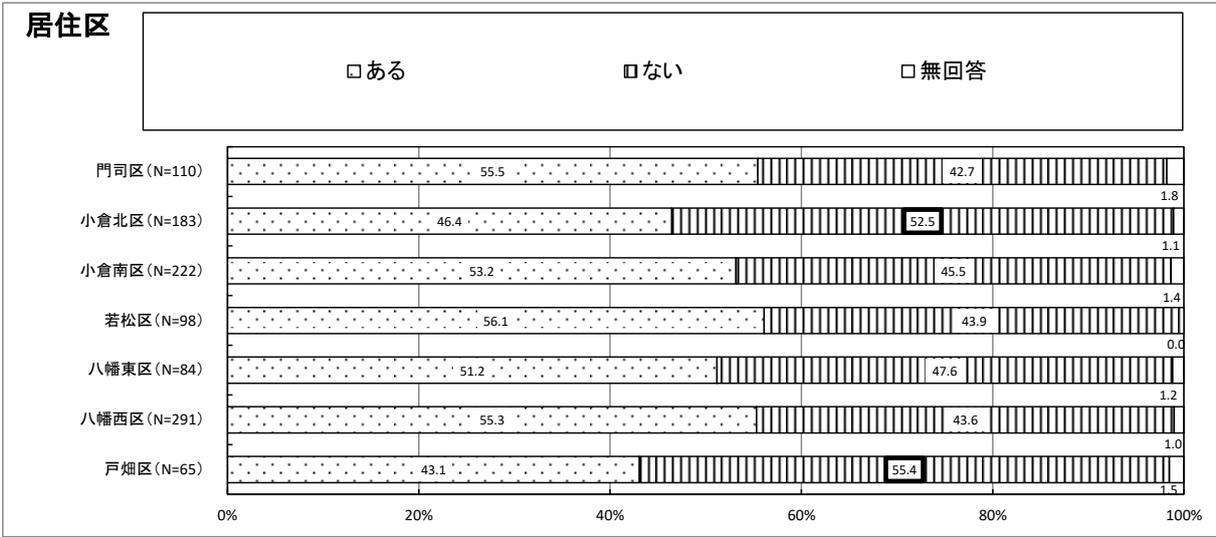
項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 ある	551	52.3
2 ない	490	46.5
無回答	12	1.1

◇ これまでに「地域活動」に参加したことが、  
1位 「ある」(52.3%)  
2位 「ない」(46.5%)



問 16 地域活動への参加経験の有無





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

## 地域活動への参加経験の有無

### 【全体的傾向】

これまでに「地域活動」に参加したことがあるかを尋ねたところ、「ある」(52.3%)が「ない」(46.5%)を上回っている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「ある」が多く、女性(55.0%)が男性(49.3%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、「ある」は70歳以上(61.6%)で最も多く、10・20歳代(27.5%)が最も少なかった。
- ◇ 居住年数別では、「ある」は1年未満(6.3%)が極端に少ない。一方、20年未満(40.9%)は4割台、30年未満(52.0%)、30年以上(57.4%)はともに5割台と、概ね居住年数の長い層ほど多くなっている。
- ◇ 職業別では、「ある」は公務員・教員(64.9%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(59.3%)、主婦・主夫(専業)(58.3%)、自営業(55.4%)、その他(52.8%)、無職(50.8%)と続き、これらの職業層で5割を上回った。一方、「ない」は学生(67.9%)で最も多く、次いで会社員(54.9%)、無職(46.6%)と続いた。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、「ある」は若松区(56.1%)で最も多く、次いで門司区(55.5%)、八幡西区(55.3%)と続いている。一方、「ない」は戸畑区(55.4%)で最も多く、次いで小倉北区(52.5%)が続き、これらの区で5割を上回った。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「ある」は今年度(52.3%)が平成26年度(52.1%)を上回っている。また、「ない」も今年度(46.5%)が平成26年度(45.6%)を上回っている。

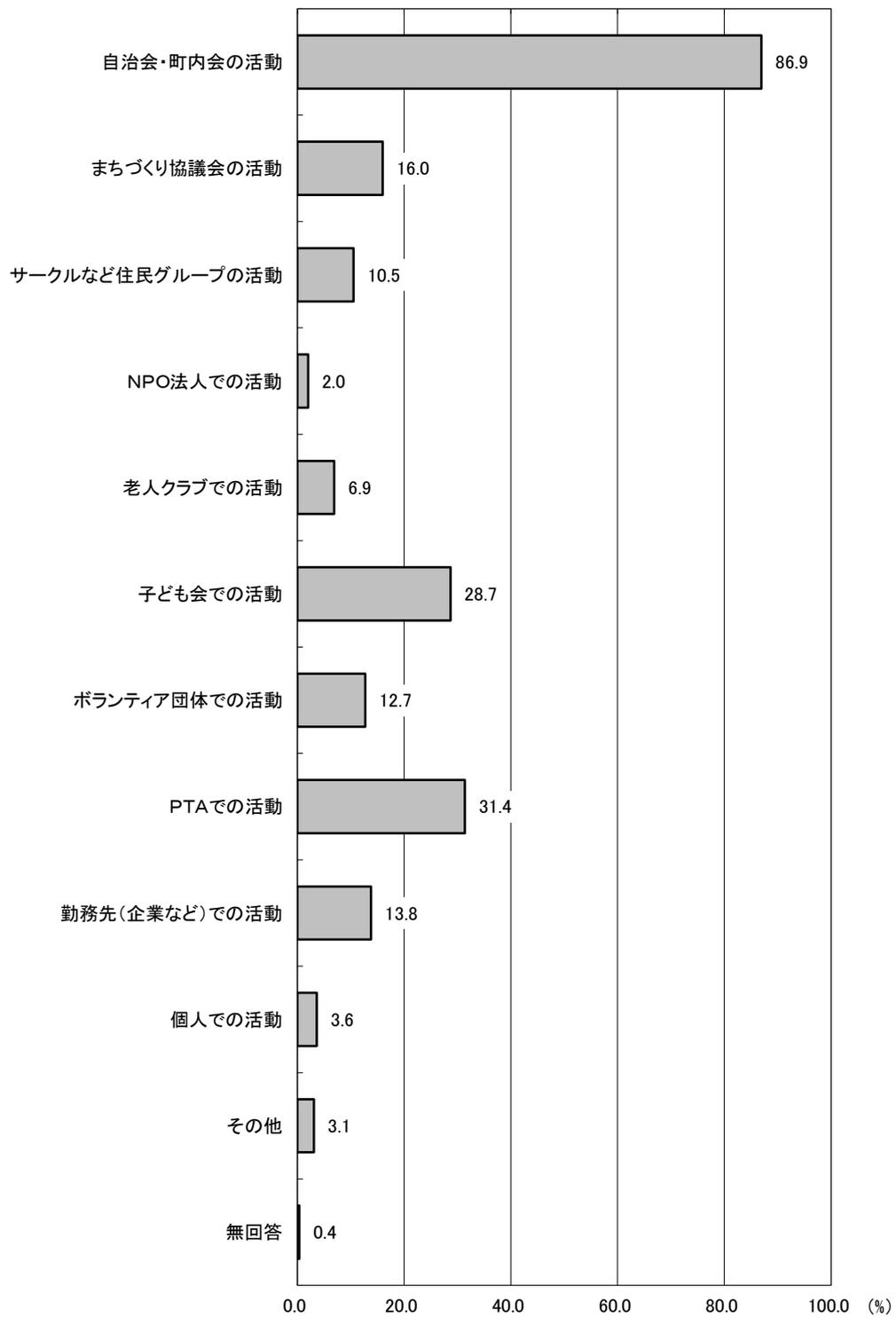
(16) -1 どのような地域活動に参加したことがあるか

副問 16-1 問 16 で 1 を選んだ方におたずねします。どのような「地域活動」に参加しましたか。活動回数の多いものを 3 つまで選んでください。

N : 551 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 自治会・町内会の活動	479	86.9
2 まちづくり協議会の活動	88	16.0
3 サークルなど住民グループの活動	58	10.5
4 NPO法人での活動	11	2.0
5 老人クラブでの活動	38	6.9
6 子ども会での活動	158	28.7
7 ボランティア団体での活動	70	12.7
8 PTAでの活動	173	31.4
9 勤務先（企業など）での活動	76	13.8
10 個人での活動	20	3.6
11 その他	17	3.1
無回答	2	0.4

- ◇ 参加した「地域活動」で活動回数の多いものは、
- 1 位 「自治会・町内会の活動」(86.9%)
  - 2 位 「PTAでの活動」(31.4%)
  - 3 位 「子ども会での活動」(28.7%)



副問 16-1 どういった地域活動に参加したことがあるか

(件・%)

		サンプル数	自治会・町内会の活動	まちづくり協議会の活動	サークルなど住民グループの活動	NPO法人での活動	老人クラブでの活動	子ども会での活動	ボランティア団体での活動	P T Aでの活動	勤務先（企業など）での活動	個人での活動	その他	無回答
全体		551	86.9	16.0	10.5	2.0	6.9	28.7	12.7	31.4	13.8	3.6	3.1	0.4
性別	男性	221	87.3	19.5	12.7	1.4	8.1	21.7	13.1	18.6	<b>19.9</b>	3.6	4.1	0.0
	女性	326	87.1	13.5	9.2	2.5	6.1	33.4	12.6	<b>40.5</b>	9.5	3.7	2.5	0.3
年齢別	10・20歳代	19	68.4	0.0	0.0	0.0	0.0	26.3	15.8	5.3	<b>21.1</b>	5.3	5.3	0.0
	30歳代	35	80.0	2.9	5.7	0.0	2.9	31.4	17.1	25.7	17.1	0.0	0.0	0.0
	40歳代	96	80.2	13.5	7.3	4.2	0.0	28.1	13.5	<b>50.0</b>	14.6	3.1	2.1	0.0
	50歳代	88	84.1	5.7	0.0	4.5	0.0	<b>35.2</b>	6.8	<b>58.0</b>	13.6	1.1	3.4	0.0
	60歳代	141	<b>94.3</b>	20.6	12.8	1.4	6.4	<b>34.0</b>	12.1	27.0	14.9	5.7	1.4	0.0
	70歳以上	167	91.0	<b>23.4</b>	<b>18.6</b>	0.6	<b>16.8</b>	21.0	15.0	15.6	10.2	4.2	5.4	0.6
居住年数別	1年未満	1	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0
	2年未満	5	80.0	20.0	<b>20.0</b>	0.0	0.0	<b>40.0</b>	0.0	0.0	<b>20.0</b>	0.0	0.0	0.0
	3年未満	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>66.7</b>	<b>33.3</b>	33.3	<b>33.3</b>	0.0	0.0	0.0
	5年未満	9	88.9	11.1	<b>22.2</b>	0.0	11.1	22.2	0.0	33.3	0.0	<b>11.1</b>	0.0	0.0
	10年未満	12	91.7	8.3	8.3	<b>8.3</b>	0.0	16.7	16.7	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0
	20年未満	45	86.7	11.1	13.3	0.0	0.0	31.1	<b>17.8</b>	35.6	15.6	4.4	4.4	2.2
	30年未満	64	71.9	4.7	4.7	1.6	1.6	26.6	<b>40.6</b>	12.5	15.6	3.1	3.1	0.0
	30年以上	408	90.0	18.6	11.0	2.2	8.8	28.9	12.5	30.1	13.2	3.7	3.2	0.0
職業別	自営業	36	80.6	<b>22.2</b>	13.9	0.0	11.1	33.3	16.7	27.8	8.3	2.8	5.6	0.0
	自由業	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>50.0</b>	0.0	0.0	50.0	0.0
	会社員	115	79.1	11.3	4.3	1.7	1.7	31.3	10.4	26.1	<b>36.5</b>	2.6	2.6	0.0
	公務員・教員	24	87.5	8.3	4.2	0.0	0.0	8.3	16.7	<b>50.0</b>	16.7	4.2	0.0	0.0
	農・林・漁業	4	<b>100.0</b>	<b>50.0</b>	<b>25.0</b>	0.0	<b>25.0</b>	25.0	0.0	<b>75.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫（パートなど）	102	<b>92.2</b>	9.8	2.9	3.9	1.0	30.4	13.7	<b>54.9</b>	5.9	2.0	2.9	0.0
	主婦・主夫（専業）	105	89.5	16.2	<b>16.2</b>	2.9	8.6	<b>34.3</b>	12.4	<b>39.0</b>	2.9	2.9	1.9	1.0
	学生	9	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	<b>22.2</b>	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	121	<b>93.4</b>	<b>25.6</b>	<b>18.2</b>	1.7	<b>14.9</b>	24.0	13.2	12.4	11.6	5.8	3.3	0.0
その他	28	75.0	10.7	14.3	0.0	7.1	25.0	10.7	14.3	10.7	<b>10.7</b>	7.1	0.0	
居住区別	門司区	61	83.6	<b>24.6</b>	11.5	1.6	9.8	24.6	<b>18.0</b>	32.8	11.5	4.9	0.0	0.0
	小倉北区	85	90.6	<b>21.2</b>	9.4	0.0	8.2	28.2	12.9	27.1	16.5	2.4	3.5	0.0
	小倉南区	118	86.4	14.4	11.0	3.4	8.5	<b>33.9</b>	16.1	<b>38.1</b>	6.8	0.8	2.5	0.0
	若松区	55	<b>94.5</b>	10.9	14.5	0.0	7.3	23.6	10.9	27.3	10.9	5.5	1.8	0.0
	八幡東区	43	88.4	16.3	14.0	2.3	2.3	23.3	4.7	34.9	<b>27.9</b>	2.3	2.3	0.0
	八幡西区	161	84.5	13.7	8.7	2.5	5.6	31.7	10.6	26.1	17.4	5.6	4.3	1.2
戸畑区	28	82.1	10.7	7.1	3.6	3.6	17.9	14.3	<b>48.4</b>	3.6	3.6	7.1	0.0	
経年比較														
平成26年度	全体	664	86.4	20.5	12.7	3.5	10.2	28.0	14.6	28.3	14.5	4.1	0.8	0.5

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)

## どういった地域活動に参加したことがあるか

### 【全体的傾向】

これまでに地域活動に参加したことがあるかについて、「ある」と回答した人に、どのような地域活動に参加したかを尋ねたところ、参加した「地域活動」で活動回数の多いものは、「自治会・町内会の活動」(86.9%)が最も多く、9割弱となっている。次いで「PTAでの活動」(31.4%)「子ども会での活動」(28.7%)と続いている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「自治会・町内会の活動」が最も多く、男性(87.3%)が女性(87.1%)をわずかに上回った。総合2位の「PTAでの活動」は女性(40.5%)が男性(18.6%)を大きく上回った。総合3位の「子ども会での活動」も女性(33.4%)が男性(21.7%)を上回っている。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「自治会・町内会の活動」では、60歳代(94.3%)が最も多く、70歳以上(91.0%)、50歳代(84.1%)と続いた。総合2位の「PTAでの活動」は50歳代(58.0%)で最も多く、次いで40歳代(50.0%)、60歳代(27.0%)と続いた。総合3位の「子ども会での活動」は50歳代(35.2%)で最も多く、次いで60歳代(34.0%)、30歳代(31.4%)が続いている。
- ◇ 居住年数別では、全ての居住年数層で総合1位の「自治会・町内会の活動」が最も多かった。中でも10年未満(91.7%)が最も多く、次いで30年以上(90.0%)、20年未満(86.7%)、30年未満(71.9%)と続いた。総合2位の「PTAでの活動」は30年未満(40.6%)で最も多く、次いで20年未満(35.6%)、10年未満(33.3%)と続いている。総合3位の「子ども会での活動」は20年未満(31.1%)で最も多く、唯一3割を占めた。
- ◇ 職業別では、全ての職業層で総合1位の「自治会・町内会の活動」が最も多かった。中でも無職(93.4%)が最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(92.2%)、主婦・主夫(専業)(89.5%)と続いた。総合2位の「PTAでの活動」は主婦・主夫(パートなど)(54.9%)で最も多く、次いで公務員・教員(50.0%)と続いた。総合3位の「子ども会での活動」は主婦・主夫(専業)(34.3%)で最も多く、次いで自営業(33.3%)と続いている。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「自治会・町内会の活動」が最も多かった。中でも若松区(94.5%)で最も多く、最も低い戸畑区(82.1%)を含む全ての区で8割を上回った。総合2位の「PTAでの活動」は戸畑区(46.4%)で最も多く、次いで小倉南区(38.1%)、八幡東区(34.9%)と続いた。総合3位の「子ども会での活動」は小倉南区(33.9%)で最も多く、次いで八幡西区(31.7%)と続き、これらの区で3割を上回った。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「自治会・町内会の活動」は今年度(86.9%)が平成26年度(86.4%)を上回っている。「PTAでの活動」も今年度(31.4%)が平成26年度(28.3%)を上回っている。また、「子ども会での活動」でも今年度(28.7%)が平成26年度(28.0%)を上回る結果となった。

(16) -2 地域活動に参加している理由

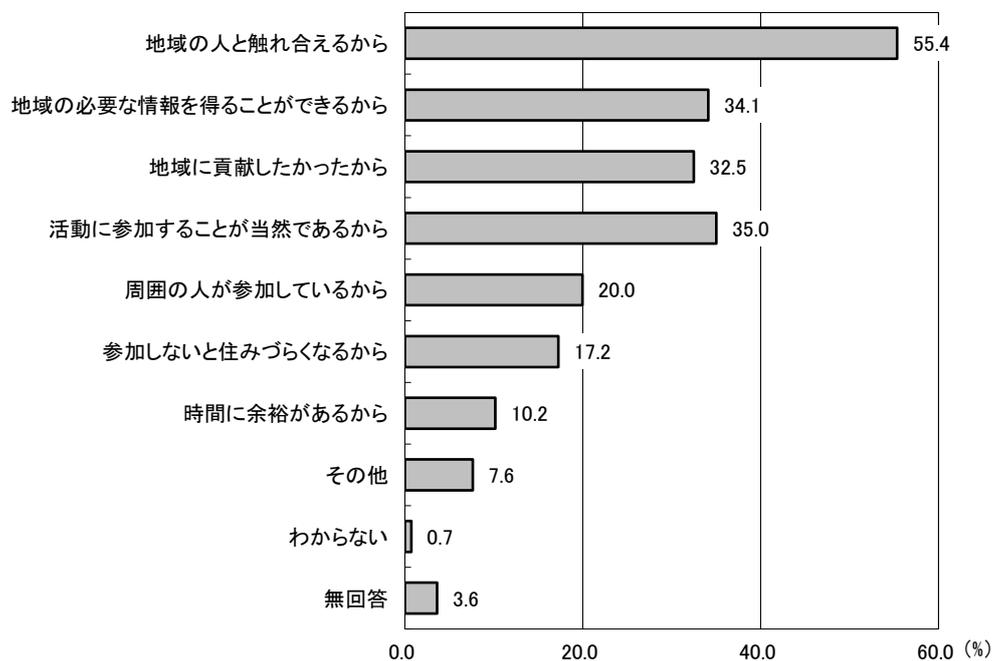
副問 16-2 問 16 で 1 を選んだ方におたずねします。あなたが「地域活動」に参加している理由は何ですか。次の中から 3 つまで選んでください。

N : 551 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 地域の人と触れ合えるから	305	55.4
2 地域の必要な情報を得ることができるから	188	34.1
3 地域に貢献したかったから	179	32.5
4 活動に参加することが当然であるから	193	35.0
5 周囲の人が参加しているから	110	20.0
6 参加しないと住みづらくなるから	95	17.2
7 時間に余裕があるから	56	10.2
8 その他	42	7.6
9 わからない	4	0.7
無回答	20	3.6

◇ 「地域活動」に参加している理由は、

- 1 位 「地域の人と触れ合えるから」 (55.4%)
- 2 位 「活動に参加することが当然であるから」 (35.0%)
- 3 位 「地域の必要な情報を得ることができるから」 (34.1%)



副問 16-2 地域活動に参加している理由

(件・%)

		サンプル数	地域の人と触れ合えるから	地域の必要な情報を得ることができるから	地域に貢献したかったから	活動に参加することが当然であるから	周囲の方が参加しているから	参加しないと住みづらくなるから	時間に余裕があるから	その他	わからない	無回答
全体		551	55.4	34.1	32.5	35.0	20.0	17.2	10.2	7.6	0.7	3.6
性別	男性	221	<b>60.6</b>	29.9	<b>40.7</b>	35.3	18.6	17.6	12.2	6.3	0.0	4.1
	女性	326	51.8	36.8	26.7	35.0	21.2	17.2	8.9	8.6	1.2	3.1
年齢別	10・20歳代	19	52.6	5.3	<b>42.1</b>	<b>42.1</b>	15.8	10.5	<b>15.8</b>	5.3	5.3	0.0
	30歳代	35	34.3	31.4	22.9	25.7	<b>25.7</b>	20.0	5.7	8.6	5.7	5.7
	40歳代	96	45.8	29.2	32.3	18.8	22.9	19.8	5.2	12.5	0.0	4.2
	50歳代	88	38.6	31.8	29.5	26.1	<b>26.1</b>	<b>28.4</b>	5.7	14.8	0.0	2.3
	60歳代	141	<b>61.7</b>	36.9	29.1	<b>44.0</b>	22.0	16.3	11.3	5.0	0.0	0.7
	70歳以上	167	<b>69.5</b>	38.9	<b>37.7</b>	<b>42.5</b>	12.6	11.4	15.0	3.6	0.6	6.0
居住年数別	1年未満	1	<b>100.0</b>	0.0	0.0	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年未満	5	40.0	<b>40.0</b>	0.0	20.0	20.0	20.0	<b>20.0</b>	20.0	0.0	0.0
	3年未満	3	33.3	33.3	0.0	33.3	<b>33.3</b>	<b>33.3</b>	0.0	0.0	0.0	0.0
	5年未満	9	44.4	<b>44.4</b>	33.3	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0
	10年未満	12	58.3	33.3	8.3	25.0	16.7	0.0	8.3	0.0	<b>8.3</b>	8.3
	20年未満	45	44.4	22.2	33.3	24.4	20.0	<b>26.7</b>	8.9	17.8	0.0	2.2
	30年未満	64	35.9	29.7	31.3	34.4	18.8	10.9	7.8	4.7	1.6	4.7
	30年以上	408	60.0	35.8	33.8	37.0	20.3	17.6	10.8	7.1	0.5	3.4
職業別	自営業	36	<b>69.4</b>	<b>44.4</b>	36.1	30.6	13.9	19.4	11.1	5.6	0.0	2.8
	自由業	2	0.0	<b>50.0</b>	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	<b>50.0</b>	0.0	0.0	0.0
	会社員	115	50.4	29.6	35.7	24.3	<b>27.0</b>	<b>23.5</b>	3.5	13.0	0.0	3.5
	公務員・教員	24	41.7	8.3	<b>45.8</b>	<b>41.7</b>	16.7	<b>25.0</b>	4.2	12.5	0.0	0.0
	農・林・漁業	4	50.0	25.0	<b>50.0</b>	<b>75.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	102	41.2	30.4	21.6	34.3	21.6	21.6	4.9	9.8	2.0	2.9
	主婦・主夫(専業)	105	56.2	<b>42.9</b>	21.9	38.1	22.9	14.3	8.6	2.9	1.9	4.8
	学生	9	<b>77.8</b>	0.0	<b>44.4</b>	33.3	22.2	11.1	<b>22.2</b>	11.1	0.0	0.0
	無職	121	<b>68.6</b>	38.0	<b>38.8</b>	<b>42.1</b>	12.4	12.4	<b>22.3</b>	5.0	0.0	5.0
その他	28	57.1	32.1	<b>42.9</b>	39.3	<b>25.0</b>	7.1	10.7	7.1	0.0	0.0	
居住区別	門司区	61	<b>65.6</b>	34.4	32.8	24.6	16.4	18.0	14.8	8.2	0.0	3.3
	小倉北区	85	52.9	30.6	36.5	34.1	<b>28.2</b>	16.5	10.6	8.2	0.0	4.7
	小倉南区	118	54.2	36.4	36.4	36.4	18.6	16.9	11.0	7.6	2.5	3.4
	若松区	55	47.3	36.4	25.5	36.4	20.0	12.7	10.9	3.6	1.8	0.0
	八幡東区	43	<b>60.5</b>	25.6	32.6	<b>44.2</b>	20.9	20.9	7.0	7.0	0.0	2.3
	八幡西区	161	55.9	36.6	31.7	36.0	19.3	16.1	8.7	7.5	0.0	5.0
戸畑区	28	50.0	28.6	21.4	32.1	10.7	<b>28.6</b>	7.1	14.3	0.0	3.6	
経年比較												
平成26年度	全体	664	58.0	33.1	34.2	<b>40.8</b>	14.8	11.4	10.4	5.3	0.2	5.4

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)

## 地域活動に参加している理由

### 【全体的傾向】

「地域活動」に参加している理由は、「地域の人と触れ合えるから」(55.4%)が最も多く、5割半ばとなっている。次いで「活動に参加することが当然であるから」(35.0%)、「地域の必要な情報を得ることができるから」(34.1%)と続いた。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「地域の人と触れ合えるから」が最も多く、男性(60.6%)が女性(51.8%)を上回った。総合2位の「活動に参加することが当然であるから」も男性(35.3%)が女性(35.0%)を上回った。一方、総合3位の「地域の必要な情報を得ることができるから」は女性(36.8%)が男性(29.9%)を上回っている。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「地域の人と触れ合えるから」は70歳以上(69.5%)で最も多く、次いで60歳代(61.7%)が続き、高年層でともに6割を上回った。総合2位の「活動に参加することが当然であるから」は60歳代(44.0%)で最も多く、次いで70歳以上(42.5%)、10・20歳代(42.1%)と続いた。総合3位の「地域の必要な情報を得ることができるから」は70歳以上(38.9%)で最も多く、次いで60歳代(36.9%)が続いた。
- ◇ 居住年数別では、全ての居住年数層で総合1位の「地域の人と触れ合えるから」が最も多かった。中でも30年以上(60.0%)が最も多く、唯一6割台となった。総合2位の「活動に参加することが当然であるから」は30年以上(37.0%)で最も多く、次いで30年未満(34.4%)が続き、これらの居住年数層で3割を上回った。総合3位の「地域の必要な情報を得ることができるから」は30年以上(35.8%)で最も多かった。
- ◇ 職業別では、総合1位の「地域の人と触れ合えるから」では、自営業(69.4%)が最も多く、次いで無職(68.6%)、その他(57.1%)と続いた。総合2位の「活動に参加することが当然であるから」は無職(42.1%)で最も多く、次いで公務員・職員(41.7%)が続いた。総合3位の「地域の必要な情報を得ることができるから」は自営業(44.4%)で最も多く、次いで主婦・主夫(専業)(42.9%)が続いている。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「地域の人と触れ合えるから」が最も多かった。中でも門司区(65.6%)で最も多く、次いで八幡東区(60.5%)が続いた。総合2位の「活動に参加することが当然であるから」は八幡東区(44.2%)で最も多く、最も少ない門司区(24.6%)との差は19.6ポイントとなっている。総合3位の「地域の必要な情報を得ることができるから」は八幡西区(36.6%)で最も多く、次いで小倉南区及び若松区(各36.4%)と続いた。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「地域の人と触れ合えるから」は今年度(58.0%)が平成26年度(55.4%)を上回っている。「活動に参加することが当然であるから」は平成26年度(40.8%)が今年度(35.0%)を上回っている。また、「地域の必要な情報を得ることができるから」では今年度(34.1%)が平成26年度(33.1%)を上回る結果となった。

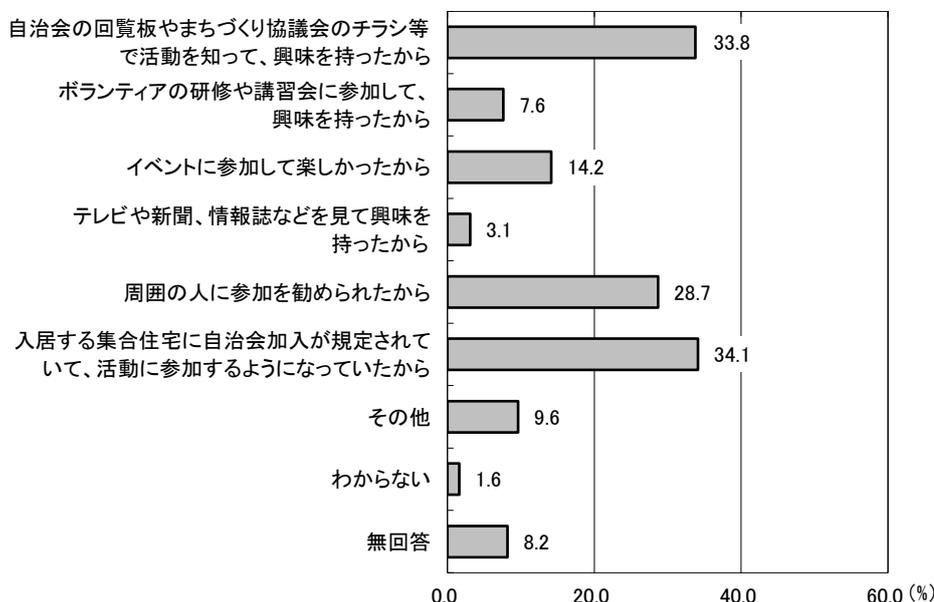
(16) -3 地域活動に参加したきっかけ

副問 16-3 問 16 で 1 を選んだ方におたずねします。あなたが「地域活動」に参加したきっかけは何ですか。次の中から 2 つまで選んでください。

N : 551 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから	186	33.8
2 ボランティアの研修や講習会に参加して、興味を持ったから	42	7.6
3 イベントに参加して楽しかったから	78	14.2
4 テレビや新聞、情報誌などを見て興味を持ったから	17	3.1
5 周囲の人に参加を勧められたから	158	28.7
6 入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから	188	34.1
7 その他	53	9.6
8 わからない	9	1.6
無回答	45	8.2

- ◇ 「地域活動」に参加したきっかけは、
- 1 位 「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」 (34.1%)
  - 2 位 「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」 (33.8%)
  - 3 位 「周囲の人に参加を勧められたから」 (28.7%)



副問 16-3 地域活動に参加したきっかけ

(件・%)

		サンプル数	自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味持ったから	ボランティアの研修や講習会に参加して、興味を持ったから	イベントに参加して楽しかったから	テレビや新聞、情報誌などを見て興味を持ったから	周囲の人に参加を勧められたから	入居する集合住宅に自治会加入が規定されていたから、活動に参加するようになって	その他	わからない	無回答
全体		551	33.8	7.6	14.2	3.1	28.7	34.1	9.6	1.6	8.2
性別	男性	221	<b>39.8</b>	8.6	15.4	4.5	33.0	28.1	10.4	2.3	6.3
	女性	326	30.1	7.1	13.5	2.1	25.8	38.7	9.2	1.2	8.6
年齢別	10・20歳代	19	26.3	0.0	<b>26.3</b>	0.0	<b>47.4</b>	10.5	15.8	5.3	5.3
	30歳代	35	22.9	2.9	14.3	5.7	<b>37.1</b>	28.6	8.6	5.7	5.7
	40歳代	96	21.9	3.1	12.5	1.0	<b>34.4</b>	32.3	10.4	3.1	12.5
	50歳代	88	20.5	3.4	8.0	1.1	30.7	<b>43.2</b>	10.2	0.0	9.1
	60歳代	141	37.6	7.1	13.5	2.8	20.6	<b>45.4</b>	9.2	0.7	7.1
	70歳以上	167	<b>48.5</b>	<b>15.0</b>	18.0	5.4	27.5	25.7	9.0	0.6	5.4
居住年数別	1年未満	1	<b>100.0</b>	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2年未満	5	<b>40.0</b>	<b>20.0</b>	0.0	<b>20.0</b>	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	3年未満	3	0.0	0.0	<b>33.3</b>	0.0	0.0	0.0	0.0	<b>33.3</b>	33.3
	5年未満	9	33.3	0.0	<b>22.2</b>	<b>11.1</b>	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0
	10年未満	12	25.0	0.0	16.7	0.0	25.0	<b>41.7</b>	8.3	0.0	16.7
	20年未満	45	26.7	4.4	11.1	2.2	33.3	<b>40.0</b>	11.1	2.2	6.7
	30年未満	64	21.9	6.3	9.4	1.6	25.0	29.7	9.4	3.1	18.8
	30年以上	408	37.0	8.6	15.0	3.2	29.4	35.0	9.3	1.2	5.9
職業別	自営業	36	<b>41.7</b>	8.3	<b>33.3</b>	5.6	30.6	27.8	2.8	0.0	2.8
	自由業	2	<b>50.0</b>	0.0	<b>50.0</b>	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	会社員	115	27.8	5.2	12.2	1.7	<b>36.5</b>	34.8	9.6	1.7	8.7
	公務員・教員	24	20.8	4.2	4.2	4.2	25.0	25.0	25.0	4.2	4.2
	農・林・漁業	4	<b>50.0</b>	<b>25.0</b>	0.0	<b>25.0</b>	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
	主婦・主夫(パートなど)	102	26.5	2.9	6.9	3.9	26.5	<b>46.1</b>	10.8	1.0	9.8
	主婦・主夫(専業)	105	34.3	12.4	13.3	1.0	21.9	38.1	7.6	1.9	8.6
	学生	9	22.2	0.0	<b>33.3</b>	0.0	<b>66.7</b>	22.2	11.1	0.0	0.0
	無職	121	<b>46.3</b>	10.7	16.5	5.0	28.1	32.2	8.3	1.7	5.8
その他	28	35.7	7.1	<b>21.4</b>	0.0	28.6	14.3	7.1	3.6	10.7	
居住区別	門司区	61	32.8	<b>13.1</b>	16.4	6.6	27.9	31.1	9.8	4.9	3.3
	小倉北区	85	32.9	8.2	15.3	1.2	<b>42.4</b>	36.5	7.1	0.0	8.2
	小倉南区	118	35.6	8.5	11.0	3.4	29.7	26.3	11.9	2.5	7.6
	若松区	55	<b>41.8</b>	5.5	<b>20.0</b>	3.6	20.0	<b>41.8</b>	5.5	0.0	3.6
	八幡東区	43	27.9	2.3	<b>23.3</b>	4.7	30.2	<b>39.5</b>	7.0	2.3	7.0
	八幡西区	161	34.8	7.5	12.4	1.9	25.5	35.4	10.6	1.2	10.6
戸畑区	28	17.9	3.6	3.6	3.6	17.9	35.7	14.3	0.0	17.9	
経年比較											
平成26年度	全体	664	37.7	9.3	13.1	3.2	26.7	30.4	8.7	2.0	11.3

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)

## 「地域活動」に参加したきっかけ

### 【全体的傾向】

「地域活動」に参加したきっかけは、「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」(34.1%)が最も多く、次いで「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」(33.8%)、「周囲の人に参加を勧められたから」(28.7%)と続き、これらは2割以上となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」では、女性(38.7%)が男性(28.1%)を上回った。総合2位の「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は男性(39.8%)が女性(30.1%)を上回った。総合3位の「周囲の人に参加を勧められたから」も男性(33.0%)が女性(25.8%)を上回っている。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は60歳代(45.4%)で最も多く、次いで50歳代(43.2%)となった。総合2位の「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は70歳以上(48.5%)で最も多く、次いで60歳代(37.6%)と続き、高年層ほど多い傾向がみられた。総合3位の「周囲の人に参加を勧められたから」は10・20歳代(47.4%)で最も多く、次いで30歳代(37.1%)が続いた。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は10年未満(41.7%)で最も多く、次いで20年未満(40.0%)が続き、4割以上となった。総合2位の「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は30年以上(37.0%)で最も多く、唯一3割を占めた。総合3位の「周囲の人に参加を勧められたから」は20年未満(33.3%)で最も多く、唯一3割を占めた。
- ◇ 職業別では、総合1位の「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は主婦・主夫(パートなど)(46.1%)で最も多く、次いで主婦・主夫(専業)(38.1%)、会社員(34.8%)と続いた。総合2位の「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は無職(46.3%)で最も多く、次いで自営業(41.7%)、その他(35.7%)と続いた。総合3位の「周囲の人に参加を勧められたから」は会社員(36.5%)で最も多く、次いで自営業(30.6%)が続き、これらの職業層で3割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「入居する集合住宅に自治会加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は若松区(41.8%)で最も多く、次いで八幡東区(39.5%)と続いた。総合2位の「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は若松区(41.8%)で最も多く、次いで小倉南区(35.6%)、八幡西区(34.8%)と続いた。総合3位の「周囲の人に参加を勧められたから」は小倉北区(42.4%)で最も多く、次いで八幡東区(30.2%)が続いている。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「入居する集合住宅に自治会

加入が規定されていて、活動に参加するようになっていたから」は今年度（34.1%）が平成26年度（30.4%）を上回っている。一方、「自治会の回覧板やまちづくり協議会のチラシ等で活動を知って、興味を持ったから」は平成26年度（37.7%）が今年度（33.8%）を上回っている。また、「周囲の人に参加を勧められたから」では今年度（28.7%）が平成26年度（26.7%）を上回る結果となった。

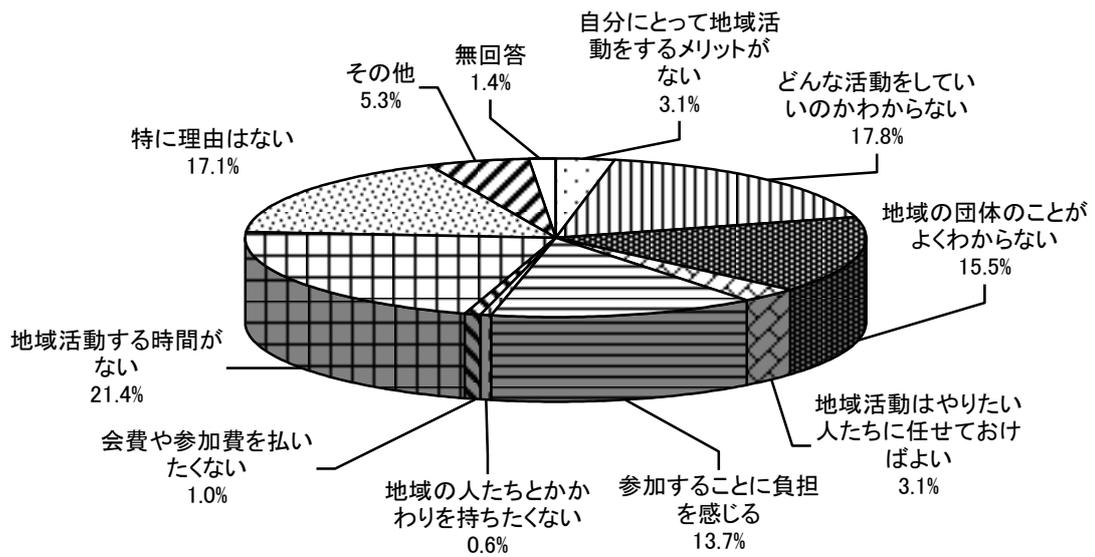
(16) -4 地域活動に参加しない理由

副問 16-4 問 16 で 2 を選んだ理由について、あなたのお考えに近いものを次の中から 1 つだけ選んでください。

N : 490 人

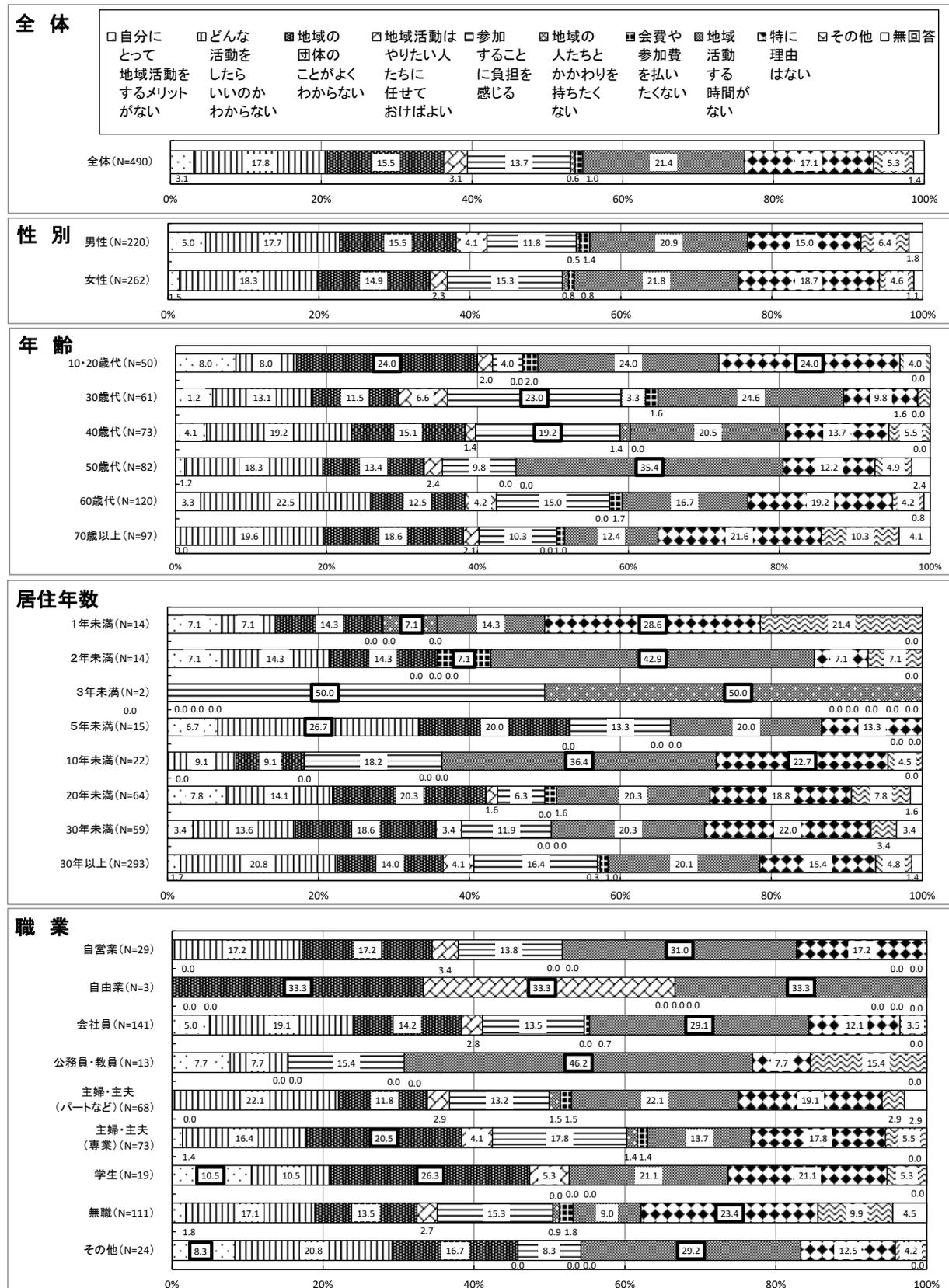
項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 自分にとって地域活動をするメリットがない	15	3.1
2 どんな活動をしたらいいのかわからない	87	17.8
3 地域の団体のことがよくわからない	76	15.5
4 地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい	15	3.1
5 参加することに負担を感じる	67	13.7
6 地域の人たちとかかわりを持ちたくない	3	0.6
7 会費や参加費を払いたくない	5	1.0
8 地域活動する時間がない	105	21.4
9 特に理由はない	84	17.1
10 その他	26	5.3
無回答	7	1.4

- ◇ 「地域活動」に参加したことが「ない」理由は、
- 1 位 「地域活動する時間がない」(21.4%)
  - 2 位 「どんな活動をしたらいいのかわからない」(17.8%)
  - 3 位 「特に理由はない」(17.1%)



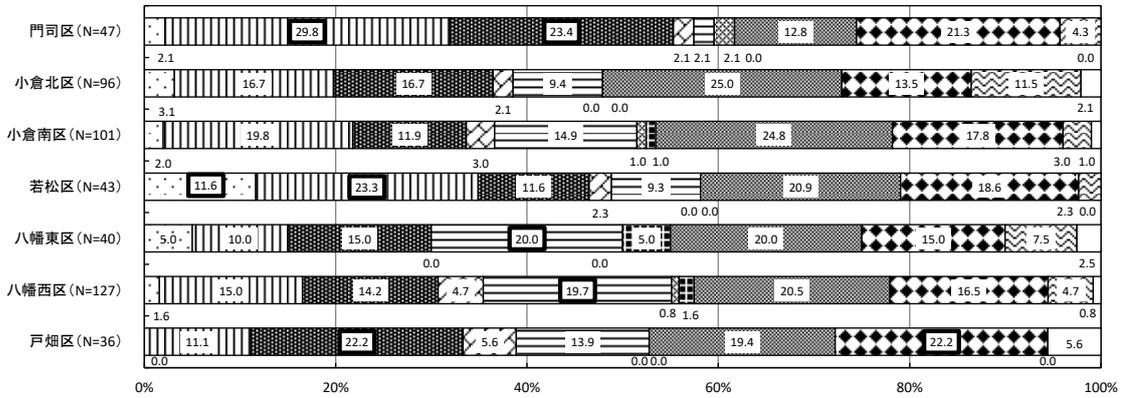
- 自分にとって地域活動をするメリットがない
- どんな活動をしていいのかわからない
- 地域の団体のことがよくわからない
- 地域活動はやりたい人たちに任せておけばよい
- 参加することに負担を感じる
- 地域の人たちとかかわりを持ちたくない
- 会費や参加費を払いたくない
- 地域活動する時間がない
- 特に理由はない
- その他
- 無回答

副問 16-4 地域活動に参加しない理由

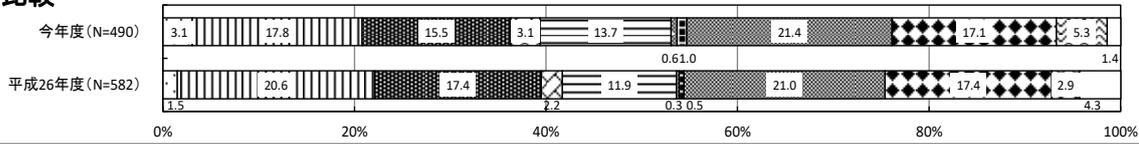


## 居住区

- 自分に  
とって  
地域活動  
するメリッ  
トがない
- どん  
な活動  
したら  
いいの  
かわら  
ない
- 地域  
の団体  
がよく  
わか  
らない
- 地域活  
動は  
やり  
たい  
人た  
ちに  
任せ  
てお  
け  
ば  
よ  
い
- 参加  
する  
こと  
に負  
担を  
感  
じ  
る
- 地域  
の人  
たち  
と  
か  
か  
わ  
り  
を  
持  
ち  
た  
く  
な  
い
- 会費  
や参  
加費  
を払  
い  
た  
く  
な  
い
- 地域  
活動  
する  
時  
間  
が  
な  
い
- 特  
に理  
由  
は  
な  
い
- その他
- 無  
回  
答



## 経年比較



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

## 地域活動に参加しない理由

### 【全体的傾向】

これまでに地域活動に参加したことがあるかについて、「ない」と回答した人に、その理由を尋ねたところ、「地域活動」に参加したことが「ない」理由は、「地域活動する時間がない」(21.4%)が最も多く、次いで「どんな活動をしたらいいのかわからない」(17.8%)、「特に理由はない」(17.1%)が続いている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、総合1位の「地域活動する時間がない」は女性(21.8%)が男性(20.9%)を上回った。総合2位の「どんな活動をしたらいいのかわからない」も女性(18.3%)が男性(17.7%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「地域活動する時間がない」は50歳代(35.4%)で最も多く、次いで30歳代(24.6%)、10・20歳代(24.0%)と続いた。総合2位の「どんな活動をしたらいいのかわからない」は60歳代(22.5%)で最も多く、次いで70歳以上(19.6%)、40歳代(19.2%)と続いた。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「地域活動する時間がない」は2年未満(42.9%)で最も多く、次いで10年未満(36.4%)が続いた。総合2位の「どんな活動をしたらいいのかわからない」は5年未満(26.7%)で最も多く、次いで30年以上(20.8%)が続いている。
- ◇ 職業別では、総合1位の「地域活動する時間がない」は公務員・教員(46.2%)で最も多く、次いで自営業(31.0%)が続き、これらの職業層で3割を上回った。総合2位の「どんな活動をしたらいいのかわからない」は主婦・主夫(パートなど)(22.1%)で最も多く、次いでその他(20.8%)が続いている。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「地域活動する時間がない」は小倉北区(25.0%)で最も多く、次いで小倉南区(24.8%)が続いた。総合2位の「どんな活動をしたらいいのかわからない」は門司区(29.8%)で最も多く、次いで若松区(23.3%)、小倉南区(19.8%)と続いている。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「地域活動する時間がない」は今年度(21.4%)が平成26年度(21.0%)を上回っている。一方、「どんな活動をしたらいいのかわからない」は平成26年度(20.6%)が今年度(17.8%)を上回っている。

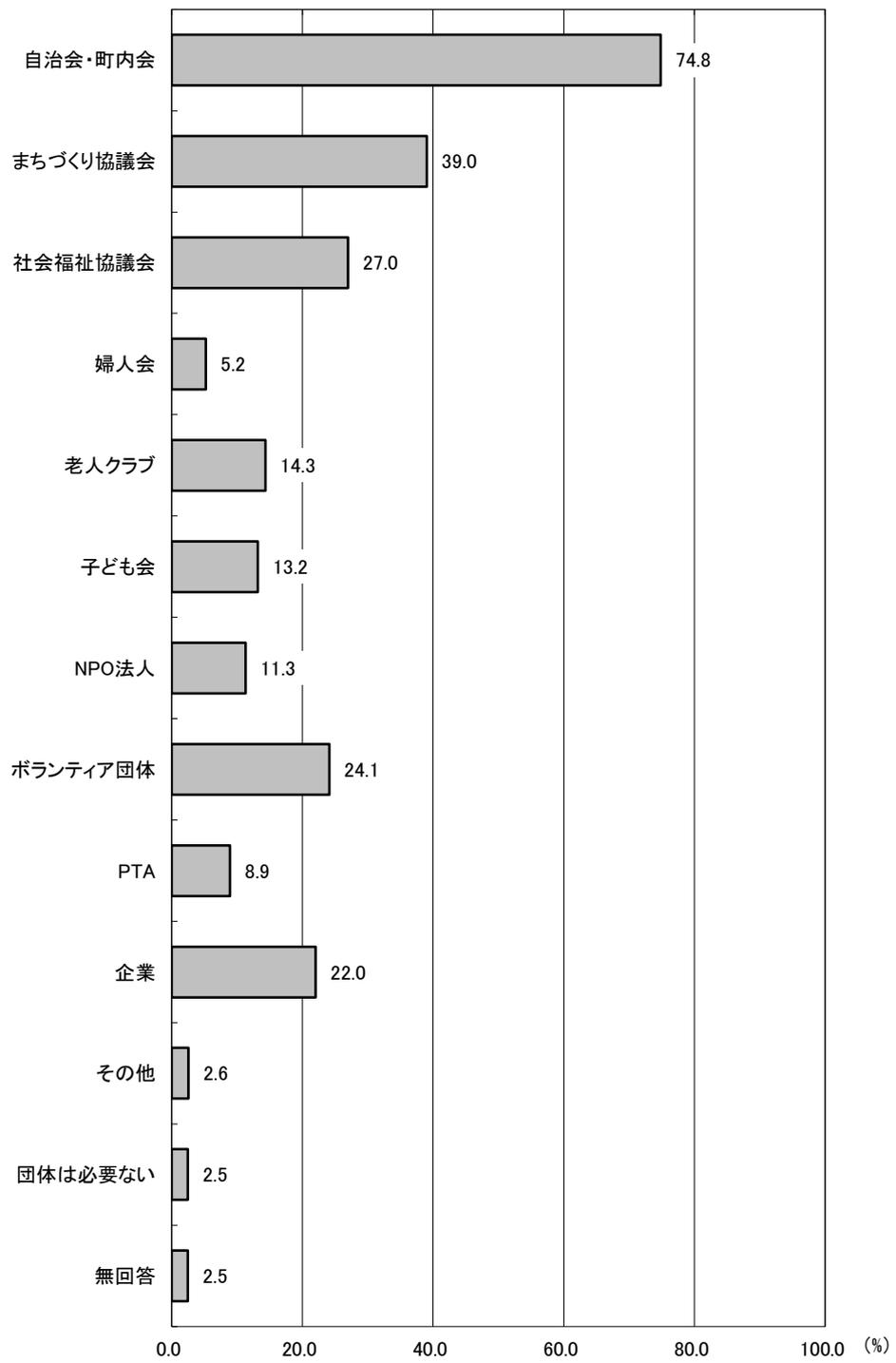
(17) 地域活動を支える大切な団体は何か

問 17 これからの地域活動を支える大切な団体は何と思いますか。次の中から3つまで選んでください。

N : 1,053 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 自治会・町内会	788	74.8
2 まちづくり協議会	411	39.0
3 社会福祉協議会	284	27.0
4 婦人会	55	5.2
5 老人クラブ	151	14.3
6 子ども会	139	13.2
7 NPO法人	119	11.3
8 ボランティア団体	254	24.1
9 P T A	94	8.9
10 企業	232	22.0
11 その他	27	2.6
12 団体は必要ない	26	2.5
無回答	26	2.5

- ◇ これからの地域活動を支える大切な団体は、
- 1位 「自治会・町内会」(74.8%)
  - 2位 「まちづくり協議会」(39.0%)
  - 3位 「社会福祉協議会」(27.0%)



問 17 地域活動を支える大切な団体は何か

(件・%)

		サンプル数	自治会・町内会	まちづくり協議会	社会福祉協議会	婦人会	老人クラブ	子ども会	NPO法人	ボランティア団体	P T A	企業	その他	団体は必要ない	無回答
全体		1,053	74.8	39.0	27.0	5.2	14.3	13.2	11.3	24.1	8.9	22.0	2.6	2.5	2.5
性別	男性	448	74.6	36.8	26.3	3.6	14.5	13.6	11.2	26.1	8.9	25.0	3.1	2.7	3.1
	女性	593	74.7	40.8	27.3	6.6	14.5	12.8	11.5	22.4	8.9	20.1	2.2	2.4	2.0
年齢別	10・20歳代	69	71.0	21.7	14.5	4.3	11.6	17.4	14.5	<b>31.9</b>	<b>17.4</b>	<b>40.6</b>	0.0	1.4	0.0
	30歳代	96	67.7	35.4	11.5	6.3	13.5	<b>24.0</b>	12.5	19.8	10.4	25.0	1.0	6.3	0.0
	40歳代	169	71.0	42.0	13.0	3.0	11.8	17.8	14.8	24.9	<b>19.5</b>	<b>27.8</b>	4.7	0.6	0.6
	50歳代	171	71.3	37.4	28.1	1.8	10.5	12.3	14.6	26.3	9.4	<b>35.7</b>	2.3	2.9	1.2
	60歳代	265	75.8	40.8	<b>32.8</b>	4.5	12.5	11.3	10.9	23.4	5.7	18.1	3.0	3.0	3.4
	70歳以上	271	<b>81.2</b>	42.8	<b>37.6</b>	9.6	<b>21.4</b>	7.4	6.3	22.5	2.6	8.5	2.2	1.8	5.2
居住年数別	1年未満	16	62.5	31.3	6.3	<b>12.5</b>	12.5	<b>25.0</b>	12.5	18.8	0.0	<b>31.3</b>	0.0	0.0	6.3
	2年未満	19	57.9	21.1	21.1	5.3	10.5	15.8	5.3	21.1	5.3	<b>42.1</b>	5.3	0.0	0.0
	3年未満	5	60.0	20.0	20.0	0.0	<b>20.0</b>	<b>40.0</b>	<b>40.0</b>	20.0	0.0	20.0	0.0	<b>20.0</b>	0.0
	5年未満	24	79.2	<b>45.8</b>	25.0	4.2	8.3	12.5	<b>20.8</b>	<b>33.3</b>	12.5	25.0	4.2	0.0	0.0
	10年未満	34	70.6	29.4	20.6	0.0	14.7	14.7	14.7	5.9	<b>26.5</b>	23.5	0.0	5.9	2.9
	20年未満	110	70.0	35.5	22.7	1.8	9.1	<b>20.0</b>	13.6	<b>31.8</b>	<b>14.5</b>	19.1	4.5	6.4	0.9
	30年未満	123	72.4	33.3	22.0	3.3	13.0	12.2	11.4	27.6	10.6	<b>28.5</b>	3.3	2.4	2.4
	30年以上	711	76.7	41.8	29.4	6.3	15.9	11.7	10.4	23.1	7.2	20.7	2.3	1.8	2.8
職業別	自営業	65	<b>83.1</b>	41.5	27.7	<b>12.3</b>	<b>20.0</b>	12.3	6.2	15.4	9.2	24.6	0.0	1.5	0.0
	自由業	5	60.0	0.0	0.0	0.0	<b>20.0</b>	<b>20.0</b>	0.0	0.0	<b>40.0</b>	<b>40.0</b>	0.0	<b>20.0</b>	0.0
	会社員	257	72.0	34.6	17.5	2.7	10.9	16.3	15.2	25.7	10.9	<b>35.4</b>	2.7	1.6	1.6
	公務員・教員	37	67.6	40.5	24.3	0.0	5.4	8.1	13.5	<b>29.7</b>	<b>18.9</b>	27.0	5.4	<b>8.1</b>	0.0
	農・林・漁業	4	<b>100.0</b>	<b>50.0</b>	25.0	0.0	<b>25.0</b>	0.0	0.0	25.0	<b>25.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	172	73.8	39.0	25.0	6.4	16.3	12.2	9.9	23.8	10.5	23.8	3.5	0.6	1.7
	主婦・主夫(専業)	180	76.7	<b>47.8</b>	30.6	6.7	12.2	15.0	10.0	21.7	8.9	13.9	0.0	2.2	3.3
	学生	28	78.6	28.6	21.4	0.0	14.3	<b>21.4</b>	3.6	<b>35.7</b>	<b>21.4</b>	21.4	0.0	3.6	0.0
	無職	238	74.8	38.7	<b>35.3</b>	6.3	18.5	9.2	10.5	25.2	3.4	11.8	3.4	4.6	5.0
	その他	53	73.6	39.6	<b>32.1</b>	3.8	13.2	13.2	<b>17.0</b>	22.6	1.9	22.6	7.5	0.0	1.9
居住区別	門司区	110	71.8	43.6	25.5	5.5	14.5	12.7	14.5	<b>30.0</b>	5.5	10.9	3.6	4.5	2.7
	小倉北区	183	72.7	39.3	21.9	6.0	16.4	12.0	8.2	21.3	9.3	23.0	3.3	2.7	2.2
	小倉南区	222	75.2	42.8	28.4	5.0	15.8	11.3	16.2	<b>29.7</b>	10.4	26.1	1.4	0.9	1.8
	若松区	98	<b>80.6</b>	36.7	28.6	4.1	10.2	15.3	8.2	19.4	11.2	17.3	1.0	3.1	7.1
	八幡東区	84	76.2	38.1	29.8	6.0	10.7	15.5	11.9	20.2	13.1	23.8	0.0	2.4	2.4
	戸畑区	291	73.2	34.7	29.6	4.1	13.4	13.7	9.6	22.3	6.9	23.7	3.8	3.1	2.1
戸畑区	65	<b>81.5</b>	41.5	21.5	9.2	18.5	15.4	9.2	23.1	9.2	21.5	3.1	0.0	0.0	
経年比較															
平成26年度	全体	1,275	75.4	41.5	26.9	5.3	16.5	15.1	7.7	22.8	6.9	19.8	0.5	2.4	4.9

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)

## 地域活動を支える大切な団体は何か

### 【全体的傾向】

これからの地域活動を支える大切な団体は、「自治会・町内会」(74.8%)が最も多く、次いで「まちづくり協議会」(39.0%)、「社会福祉協議会」(27.0%)の順となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「自治会・町内会」が最も多く、女性(74.7%)、男性(74.6%)とも7割半ばとなって、差はみられなかった。総合2位の「まちづくり協議会」は女性(40.8%)が男性(36.8%)を上回った。総合3位の「社会福祉協議会」でも女性(27.3%)が男性(26.3%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「自治会・町内会」では、70歳以上(81.2%)で最も多く、最も少ない30歳代(67.7%)を含む全ての年齢層で6割を上回った。総合2位の「まちづくり協議会」は70歳以上(42.8%)で最も多く、次いで40歳代(42.0%)が続いた。総合3位の「社会福祉協議会」は70歳以上(37.6%)で最も多く、次いで60歳代(32.8%)が続いた。
- ◇ 居住年数別では、全ての居住年数層で総合1位の「自治会・町内会」が最も多かった。中でも5年未満(79.2%)で最も多く、次いで30年以上(76.7%)が続いた。総合2位の「まちづくり協議会」では5年未満(45.8%)で最も多く、次いで30年以上(41.8%)が続き、総合3位の「社会福祉協議会」では30年以上(29.4%)で最も多く、次いで5年未満(25.0%)と続いた。
- ◇ 職業別では、全ての職業層で総合1位の「自治会・町内会」が最も多かった。中でも自営業(83.1%)で最も多く、唯一8割を超えた。総合2位の「まちづくり協議会」は主婦・主夫(専業)(47.8%)で最も多かった。総合3位の「社会福祉協議会」は無職(35.3%)で最も多く、次いでその他(32.1%)が続いている。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、全ての区で総合1位の「自治会・町内会」が多かった。中でも戸畑区(81.5%)で最も多く、次いで若松区(80.6%)が続いた。総合2位の「まちづくり協議会」は門司区(43.6%)で最も多く、最も少ない八幡西区(34.7%)を含む全ての区で3割を上回った。総合3位の「社会福祉協議会」は八幡東区(29.8%)で最も多く、最も少ない戸畑区(21.5%)との差は8.3ポイントとなっている。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「自治会・町内会」は平成26年度(75.4%)が今年度(74.8%)を上回っている。「まちづくり協議会」も平成26年度(41.5%)が今年度(39.0%)を上回っている。また、「社会福祉協議会」では今年度(27.0%)と平成26年度(26.9%)でほとんど差はみられなかった。

(18) 自治会・町内会の活動内容の認知度

問 18 あなたの住んでいる地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているか知っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,053 人

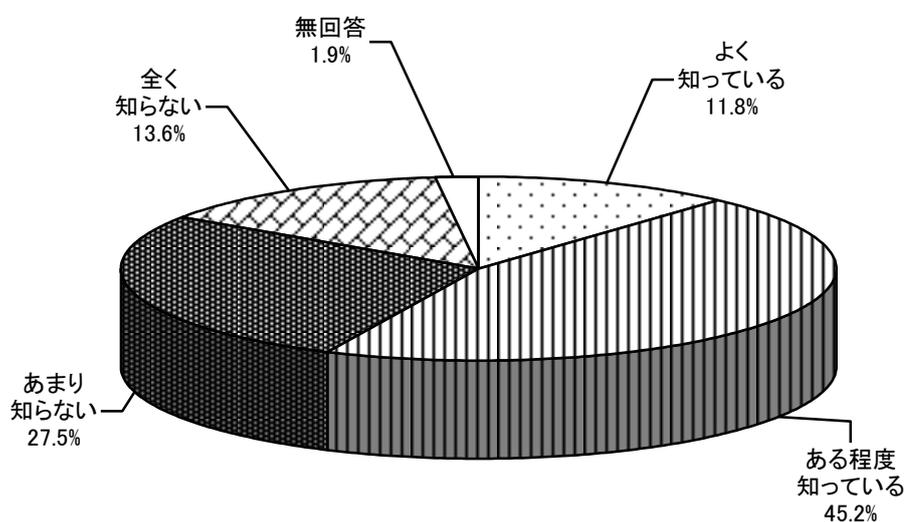
項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 よく知っている	124	11.8
2 ある程度知っている	476	45.2
3 あまり知らない	290	27.5
4 全く知らない	143	13.6
無回答	20	1.9

◇ 住んでいる地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているかを、

1位 「ある程度知っている」(45.2%)

2位 「あまり知らない」(27.5%)

3位 「全く知らない」(13.6%)



□ よく  
知っている

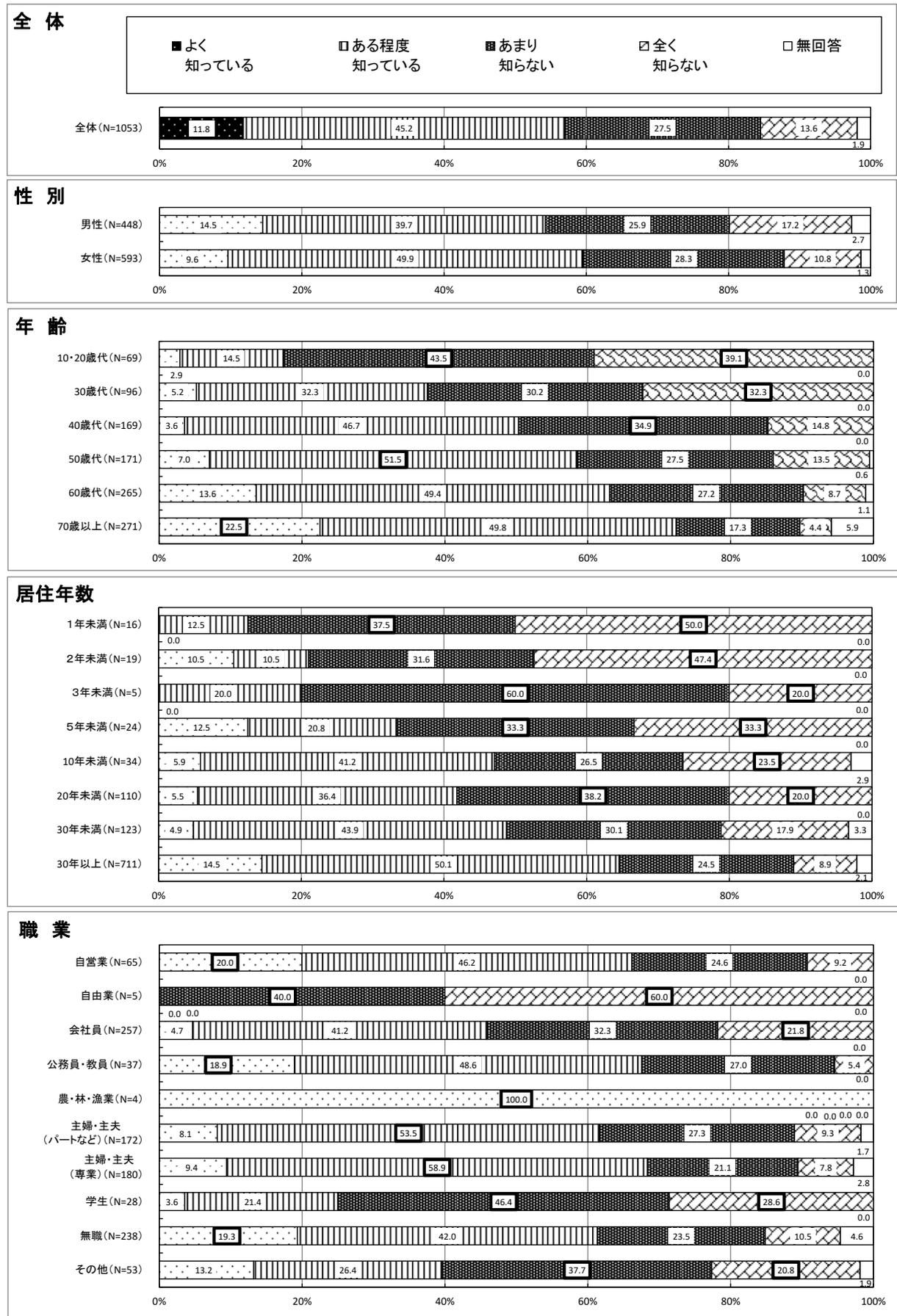
□ ある程度  
知っている

■ あまり  
知らない

□ 全く  
知らない

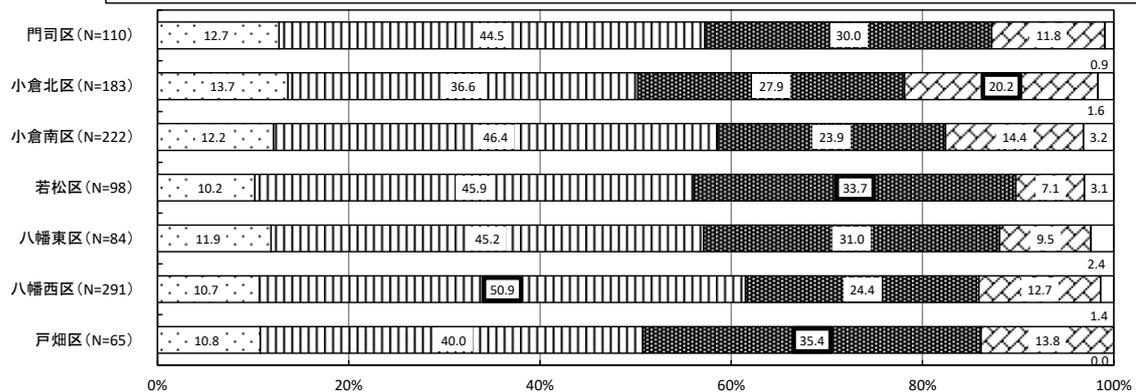
□ 無回答

問 18 自治会・町内会の活動内容の認知度

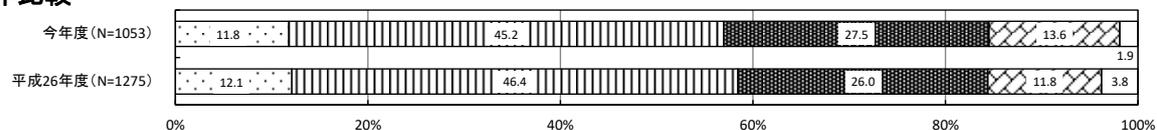


## 居住区

よく知っている     
  ある程度知っている     
  あまり知らない     
  全く知らない     
  無回答



## 経年比較



(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

### 【全体的傾向】

住んでいる地域の自治会・町内会がどのような活動を行っているか知っているかを尋ねたところ、「ある程度知っている」(45.2%)が最も多く、次いで「あまり知らない」(27.5%)、「全く知らない」(13.6%)の順となっている。「よく知っている」(11.8%)と「ある程度知っている」を合わせた『知っている』は57.0%で6割弱となり、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた『知らない』は41.1%で4割強となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「ある程度知っている」が最も多く、女性(49.9%)が男性(39.7%)を大きく上回った。『知っている』は女性(59.5%)が男性(54.2%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、「ある程度知っている」は50歳代(51.5%)で最も多く、次いで70歳以上(49.8%)、60歳代(49.4%)と続いた。『知っている』は70歳以上(72.3%)で最も多く、次いで60歳代(63.0%)が続いた。一方、「あまり知らない」は10・20歳代(43.5%)で最も多く、次いで40歳代(34.9%)が続いている。
- ◇ 居住年数別では、「ある程度知っている」は30年以上(50.1%)で最も多く、唯一5割を上回った。『知っている』は30年以上(64.6%)で最も多く、次いで30年未満(48.8%)が続いた。一方、「あまり知らない」は20年未満(38.2%)で最も多かった。「全く知らない」は1年未満(50.0%)で最も多く、次いで2年未満(47.4%)が続いている。
- ◇ 職業別では、「ある程度知っている」は主婦・主夫(専業)(58.9%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(53.5%)が続いた。『知っている』は主婦・主夫(専業)(68.3%)で最も多く、次いで公務員・教員(67.5%)が続いている。一方、「あまり知らない」は学生(46.4%)で最も多く、次いでその他(37.7%)、会社員(32.3%)と続き、これらの職業層で3割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、「ある程度知っている」は八幡西区(50.9%)で最も多く、次いで小倉南区(46.4%)が続いた。『知っている』は八幡西区(61.6%)で最も多く、最も少ない小倉北区(50.3%)を含む全ての区で5割を上回った。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「ある程度知っている」は平成26年度(46.4%)が今年度(45.2%)を上回っている。また、『知っている』も平成26年度(58.5%)が今年度(57.0%)を上回っている。

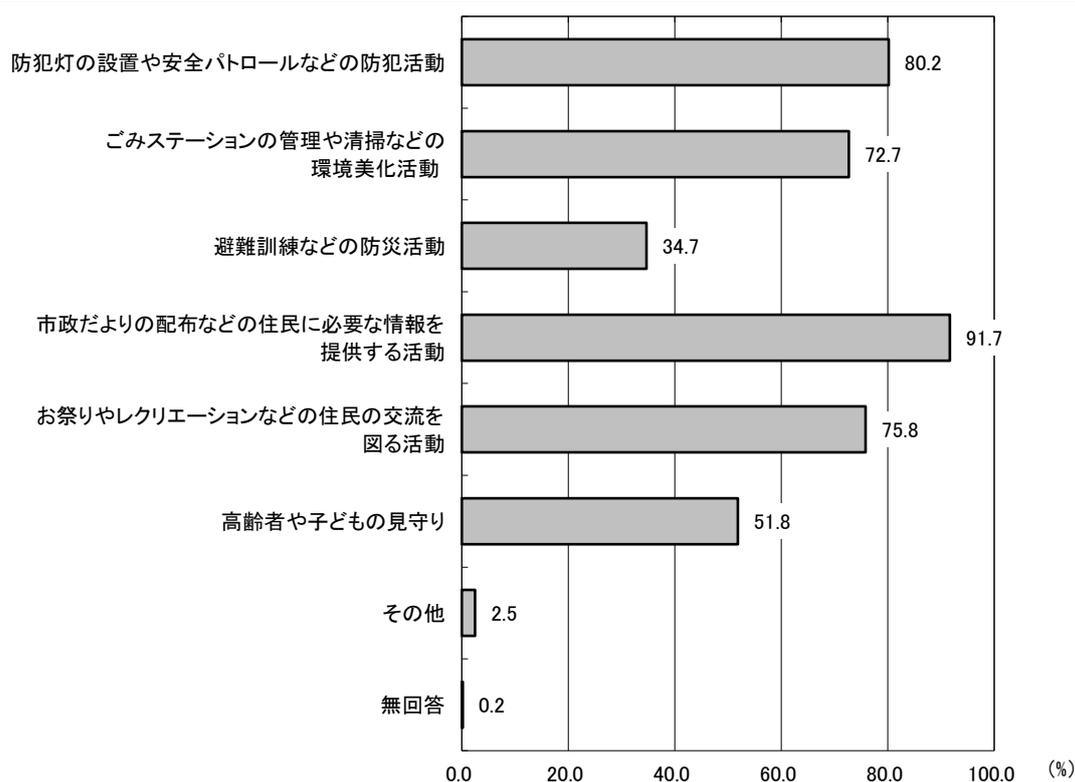
(18) -1 知っている自治会・町内会の活動

副問 18-1 問 18 で 1、2 を選んだ方におたずねします。あなたが知っている地域の自治会・町内会の活動に当てはまるものすべて選んでください。

N : 600 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動	481	80.2
2 ごみステーションの管理や清掃などの環境美化活動	436	72.7
3 避難訓練などの防災活動	208	34.7
4 市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動	550	91.7
5 お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動	455	75.8
6 高齢者や子どもの見守り	311	51.8
7 その他	15	2.5
無回答	1	0.2

- ◇ 知っている地域の自治会・町内会の活動は、
- 1位 「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」(91.7%)
  - 2位 「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」(80.2%)
  - 3位 「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(75.8%)



副問 18-1 知っている自治会・町内会の活動

(件・%)

	サンプル数	防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動	ごみステーションの管理や清掃などの環境美化活動	避難訓練などの防災活動	市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動	お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動	高齢者や子どもの見守り	その他	無回答	
全体	600	80.2	72.7	34.7	91.7	75.8	51.8	2.5	0.2	
性別	男性	243	80.7	70.8	30.5	87.7	71.2	46.9	2.5	0.4
	女性	353	79.9	73.7	38.0	94.3	79.3	55.2	2.5	0.0
年齢別	10・20歳代	12	75.0	50.0	16.7	50.0	75.0	<b>58.3</b>	0.0	0.0
	30歳代	36	55.6	69.4	19.4	86.1	75.0	36.1	0.0	0.0
	40歳代	85	80.0	77.6	32.9	92.9	80.0	<b>61.2</b>	2.4	0.0
	50歳代	100	81.0	71.0	36.0	96.0	<b>89.0</b>	54.0	1.0	0.0
	60歳代	167	83.2	70.1	33.5	94.6	77.8	49.1	3.6	0.0
	70歳以上	196	82.1	75.0	<b>40.3</b>	89.8	66.3	51.5	3.1	0.5
居住年数別	1年未満	2	50.0	<b>100.0</b>	0.0	<b>100.0</b>	50.0	0.0	0.0	0.0
	2年未満	4	25.0	<b>100.0</b>	25.0	75.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	3年未満	1	0.0	0.0	0.0	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	0.0	0.0
	5年未満	8	50.0	62.5	0.0	62.5	75.0	50.0	0.0	0.0
	10年未満	16	56.3	75.0	37.5	81.3	<b>93.8</b>	50.0	0.0	0.0
	20年未満	46	73.9	69.6	39.1	82.6	<b>84.8</b>	<b>58.7</b>	2.2	0.0
	30年未満	60	75.0	73.3	31.7	88.3	<b>81.7</b>	53.3	5.0	0.0
	30年以上	459	83.7	72.5	35.7	93.9	73.9	51.6	2.4	0.2
職業別	自営業	43	83.7	72.1	32.6	<b>97.7</b>	<b>83.7</b>	55.8	4.7	0.0
	自由業	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	会社員	118	72.9	67.8	28.8	89.8	<b>85.6</b>	50.0	2.5	0.0
	公務員・教員	25	<b>92.0</b>	76.0	28.0	84.0	60.0	36.0	4.0	0.0
	農・林・漁業	4	<b>100.0</b>	50.0	25.0	75.0	75.0	50.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	106	81.1	<b>82.1</b>	36.8	95.3	78.3	54.7	0.9	0.0
	主婦・主夫(専業)	123	78.9	71.5	36.6	94.3	72.4	51.2	2.4	0.0
	学生	7	<b>85.7</b>	57.1	14.3	71.4	71.4	<b>57.1</b>	0.0	0.0
	無職	146	82.2	72.6	38.4	91.1	70.5	52.1	2.1	0.0
その他	21	<b>85.7</b>	66.7	<b>47.6</b>	81.0	<b>81.0</b>	<b>57.1</b>	9.5	4.8	
居住区別	門司区	63	71.4	66.7	27.0	93.7	65.1	46.0	4.8	0.0
	小倉北区	92	78.3	72.8	29.3	93.5	75.0	48.9	0.0	0.0
	小倉南区	130	81.5	73.8	36.2	93.1	80.8	<b>61.5</b>	3.1	0.0
	若松区	55	<b>90.9</b>	76.4	<b>40.0</b>	92.7	76.4	<b>61.8</b>	3.6	0.0
	八幡東区	48	83.3	64.6	33.3	91.7	66.7	45.8	2.1	0.0
	八幡西区	179	78.8	73.7	36.9	89.4	79.9	48.6	1.7	0.6
戸畑区	33	81.8	<b>78.8</b>	39.4	87.9	69.7	42.4	6.1	0.0	
経年比較										
平成26年度	全体	746	80.3	70.9	25.1	87.9	74.3	50.9	0.9	0.5

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)

## 知っている自治会・町内会の活動

### 【全体的傾向】

知っている地域の自治会・町内会の活動を尋ねたところ、「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」(91.7%)が最も多く、次いで「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」(80.2%)、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」(75.8%)、「ゴミステーションの管理や清掃などの環境美化活動」(72.7%)と続き、これらは7割以上となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに総合1位の「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」が最も多く、女性(94.3%)が男性(87.7%)を上回った。総合2位の「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は男性(80.7%)が女性(79.9%)を上回った。総合3位の「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は女性(79.3%)が男性(71.2%)を上回っている。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は50歳代(96.0%)で最も多く、次いで60歳代(94.6%)が続き、最も少ない10・20歳代(50.0%)以外の全ての年齢層で8割を上回った。総合2位の「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は60歳代(83.2%)で最も多く、次いで70歳以上(82.1%)、50歳代(81.0%)と続いた。総合3位の「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は50歳代(89.0%)で最も多く、次いで40歳代(80.0%)、60歳代(77.8%)と続いた。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は30年以上(93.9%)で最も多く、最も少ない10年未満(81.3%)を含む全ての居住年数層で8割を上回った。総合2位の「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は30年以上(83.7%)で最も多く、次いで30年未満(75.0%)が続いた。総合3位の「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は10年未満(93.8%)で最も多く、次いで20年未満(84.8%)が続いている。
- ◇ 職業別では、総合1位の「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は自営業(97.7%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(95.3%)が続いた。総合2位の「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は公務員・教員(92.0%)で最も多く、次いでその他(85.7%)が続いた。総合3位の「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は会社員(85.6%)で最も多く、次いで自営業(83.7%)、その他(81.0%)と続き、これらの職業層で8割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「市政だよりの配布などの住民に必要な情報を提供する活動」は門司区(93.7%)で最も多く、次いで小倉北区(93.5%)、小倉南区(93.1%)と続いた。総合2位の「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は若松区(90.9%)で最も多く、唯一9割を上回った。総合3位の「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」は小倉南区(80.8%)で最も多く、次いで八幡西区(79.9%)、若松区(76.4%)と続いた。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「市政だよりの配布などの住

民に必要な情報を提供する活動」は今年度（91.7%）が平成26年度（87.9%）を上回っている。一方、「防犯灯の設置や安全パトロールなどの防犯活動」は平成26年度（80.3%）と今年度（80.2%）では差はみられなかった。また、「お祭りやレクリエーションなどの住民の交流を図る活動」では今年度（75.8%）が平成26年度（74.3%）を上回る結果となった。

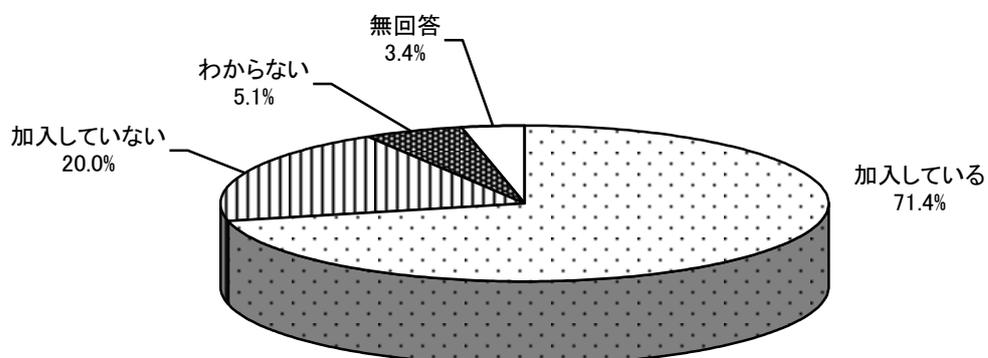
### (19) 自治会・町内会への加入状況

問 19 あなた（あなたの世帯）は、自治会・町内会に、加入していますか。次の中から1つだけ選んでください。

N : 1,053 人

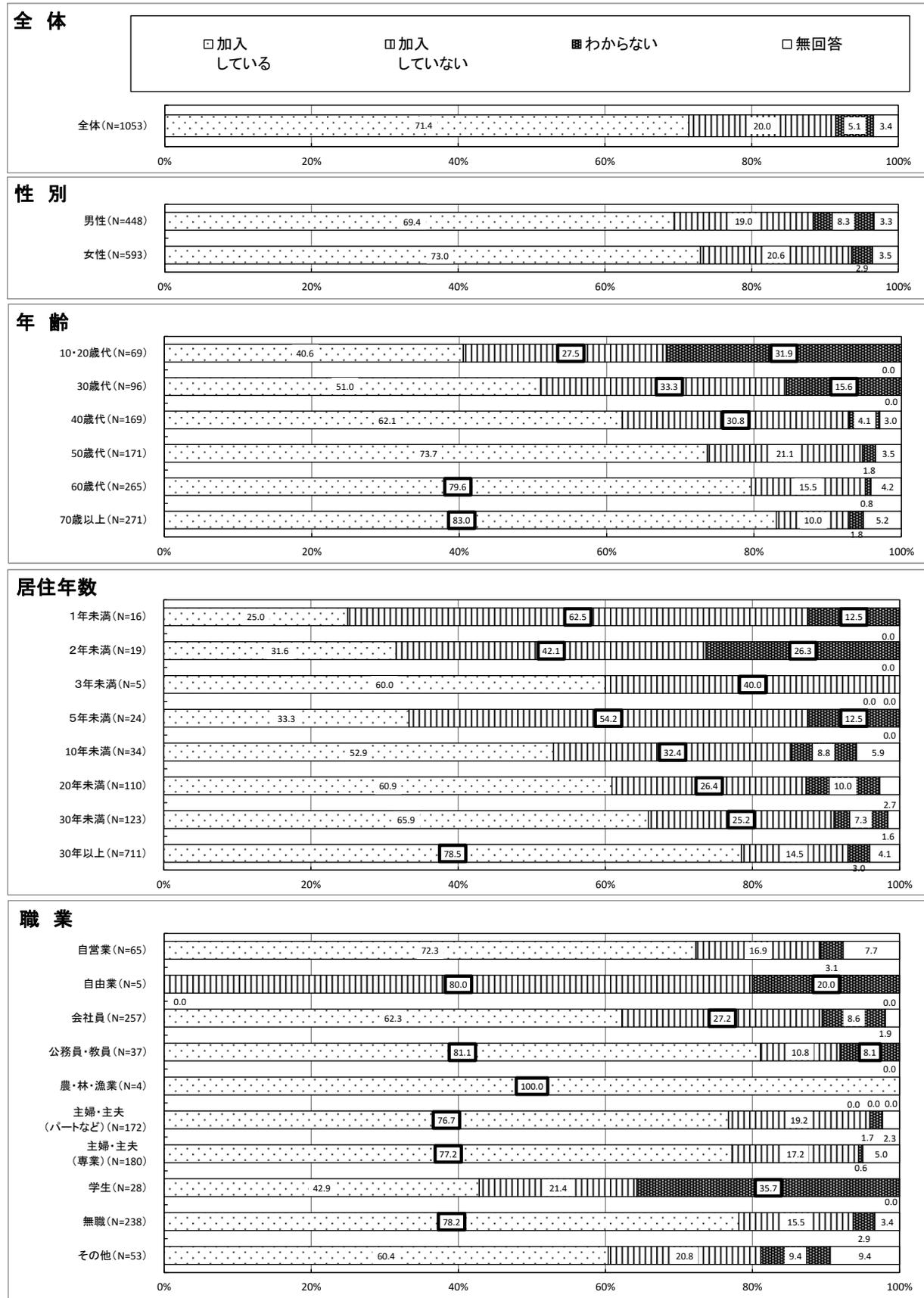
項目	数（人）	割合（%）
1 加入している	752	71.4
2 加入していない	211	20.0
3 わからない	54	5.1
無回答	36	3.4

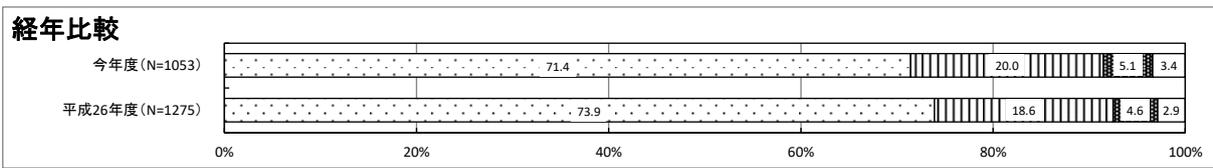
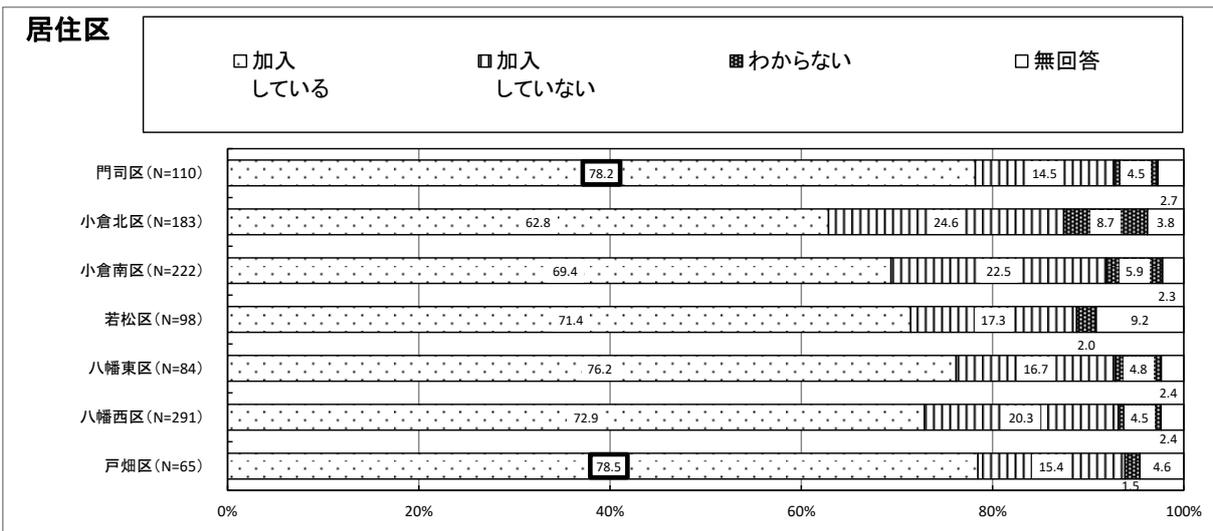
- ◇ 自治会・町内会への加入状況は、
- 1位 「加入している」(71.4%)
  - 2位 「加入していない」(20.0%)
  - 3位 「わからない」(5.1%)



□ 加入している	▨ 加入していない	■ わからない	□ 無回答
----------	-----------	---------	-------

問 19 自治会・町内会への加入状況





(注) **太枠** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」「無回答」は除く)

## 自治会・町内会への加入状況

### 【全体的傾向】

自治会・町内会への加入状況は、「加入している」(71.4%)が7割強で、「加入していない」(20.0%)を大きく上回っている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、男女ともに「加入している」が最も多く、女性(73.0%)が男性(69.4%)を上回った。
- ◇ 年齢別では、「加入している」は10・20歳代(40.6%)で最も少なく、次いで30歳代(51.0%)、40歳代(62.1%)、50歳代(73.7%)、60歳代(79.6%)、70歳以上(83.0%)と年齢層が高くなるにつれ増加している。一方、「加入していない」は30歳代(33.3%)で最も多く、次いで40歳代(30.8%)、10・20歳代(27.5%)と続き、若年層で多い傾向がみられた。「わからない」は10・20歳代(31.9%)で最も多く、唯一3割を上回った。
- ◇ 居住年数別では、「加入している」は30年以上(78.5%)で最も多く、唯一7割を上回った。一方、「加入していない」は1年未満(62.5%)で最も多く、次いで5年未満(54.2%)、2年未満(42.1%)と続いた。「わからない」は2年未満(26.3%)で最も多く、次いで1年未満、5年未満(各12.5%)と続いている。
- ◇ 職業別では、「加入している」は公務員・教員(81.1%)で最も多く、次いで無職(78.2%)、主婦・主夫(専業)(77.2%)と続いた。一方、「加入していない」は会社員(27.2%)で最も多く、次いで学生(21.4%)、その他(20.8%)と続いた。「分からない」は学生(35.7%)で最も多く、次のその他(9.4%)との差は26.3ポイントと突出している。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、「加入している」は戸畑区(78.5%)で最も多く、次いで門司区(78.2%)が続いた。一方、最も少ないのは小倉北区(62.8%)であった。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「加入している」は平成26年度(73.9%)が今年度(71.4%)を上回っている。「加入していない」は今年度(20.0%)が平成26年度(18.6%)を上回っている。

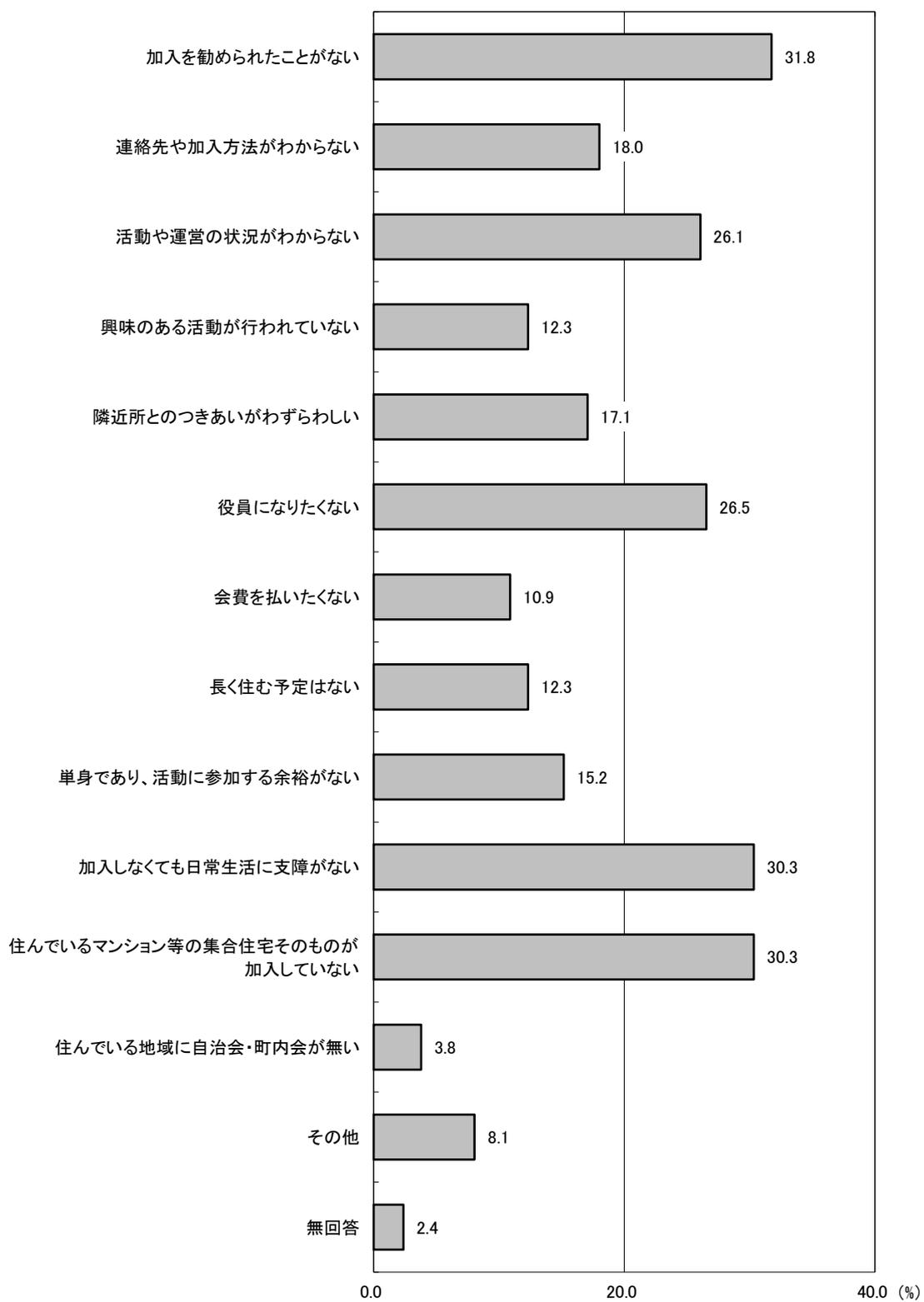
(19) -1 加入していない理由

副問 19-1 問 19 で 2 を選んだ理由について、次の中から当てはまるものすべてを選んでください。

N : 211 人

項目	回答数 (人)	割合 (%)
1 加入を勧められたことがない	67	31.8
2 連絡先や加入方法がわからない	38	18.0
3 活動や運営の状況がわからない	55	26.1
4 興味のある活動が行われていない	26	12.3
5 隣近所とのつきあいがわずらわしい	36	17.1
6 役員になりたくない	56	26.5
7 会費を払いたくない	23	10.9
8 長く住む予定はない	26	12.3
9 単身であり、活動に参加する余裕がない	32	15.2
10 加入しなくても日常生活に支障がない	64	30.3
11 住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない	64	30.3
12 住んでいる地域に自治会・町内会が無い	8	3.8
13 その他	17	8.1
無回答	5	2.4

- ◇ 自治会・町内会に「加入していない」理由は、
- 1 位 「加入を勧められたことがない」(31.8%)
  - 2 位 「加入しなくても日常生活に支障がない」(30.3%)  
「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」(30.3%)
  - 3 位 「役員になりたくない」(26.5%)



副問 19-1 加入していない理由

(件・%)

		サンプル数	加入を勧められたことがない	連絡先や加入方法がわからない	活動や運営の状況がわからない	興味のある活動が行われていない	隣近所とのつきあいがわずらわしい	役員になりたくない	会費を払いたくない	長く住む予定はない	単身であり、活動に参加する余裕がない	加入しなくても日常生活に支障がない	住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない	住んでいる地域に自治会がない	その他	無回答
全体		211	31.8	18.0	26.1	12.3	17.1	26.5	10.9	12.3	15.2	30.3	30.3	3.8	8.1	2.4
性別	男性	85	30.6	17.6	30.6	<b>17.6</b>	20.0	28.2	15.3	15.3	17.6	32.9	30.6	2.4	8.2	3.5
	女性	122	32.8	18.0	23.0	8.2	15.6	26.2	8.2	10.7	13.9	28.7	30.3	4.9	8.2	1.6
年齢別	10・20歳代	19	<b>47.4</b>	<b>26.3</b>	26.3	10.5	10.5	10.5	10.5	<b>21.1</b>	15.8	<b>36.8</b>	26.3	0.0	10.5	0.0
	30歳代	32	<b>59.4</b>	<b>31.3</b>	<b>50.0</b>	<b>18.8</b>	21.9	<b>46.9</b>	<b>28.1</b>	<b>37.5</b>	9.4	<b>56.3</b>	<b>37.5</b>	3.1	0.0	3.1
	40歳代	52	32.7	<b>23.1</b>	28.8	11.5	15.4	30.8	15.4	11.5	11.5	23.1	26.9	0.0	9.6	0.0
	50歳代	36	27.8	16.7	19.4	11.1	13.9	25.0	5.6	5.6	19.4	25.0	<b>41.7</b>	8.3	8.3	0.0
	60歳代	41	24.4	4.9	19.5	9.8	<b>26.8</b>	29.3	4.9	4.9	17.1	29.3	19.5	4.9	7.3	4.9
	70歳以上	27	3.7	7.4	11.1	11.1	11.1	7.4	0.0	0.0	<b>22.2</b>	18.5	33.3	7.4	14.8	7.4
	70歳未満	10	<b>60.0</b>	<b>40.0</b>	<b>40.0</b>	10.0	10.0	20.0	10.0	10.0	<b>40.0</b>	10.0	10.0	20.0	0.0	10.0
居住年数別	1年未満	8	<b>50.0</b>	<b>37.5</b>	<b>37.5</b>	12.5	12.5	25.0	12.5	<b>50.0</b>	0.0	25.0	<b>75.0</b>	0.0	0.0	0.0
	2年未満	2	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	0.0	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>50.0</b>	<b>50.0</b>	0.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0	0.0
	3年未満	13	<b>46.2</b>	<b>23.1</b>	30.8	<b>23.1</b>	7.7	30.8	<b>23.1</b>	<b>30.8</b>	15.4	15.4	30.8	7.7	0.0	0.0
	5年未満	11	36.4	<b>27.3</b>	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	<b>18.2</b>	9.1	27.3	<b>63.6</b>	<b>9.1</b>	0.0	0.0
	10年未満	29	27.6	20.7	13.8	17.2	<b>24.1</b>	27.6	<b>20.7</b>	6.9	3.4	34.5	24.1	0.0	17.2	6.9
	20年未満	31	<b>45.2</b>	19.4	29.0	6.5	19.4	25.8	<b>16.1</b>	6.5	9.7	<b>45.2</b>	32.3	0.0	9.7	0.0
	30年未満	103	22.3	10.7	25.2	12.6	17.5	28.2	5.8	6.8	<b>23.3</b>	28.2	26.2	5.8	7.8	2.9
	30年以上	11	36.4	<b>27.3</b>	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	<b>18.2</b>	9.1	27.3	<b>63.6</b>	<b>9.1</b>	0.0	0.0
職業別	自営業	11	36.4	<b>36.4</b>	<b>54.5</b>	<b>18.2</b>	9.1	<b>45.5</b>	<b>27.3</b>	<b>18.2</b>	<b>27.3</b>	<b>36.4</b>	18.2	0.0	9.1	0.0
	自由業	4	<b>50.0</b>	<b>25.0</b>	25.0	<b>25.0</b>	<b>25.0</b>	25.0	0.0	<b>25.0</b>	0.0	<b>50.0</b>	<b>75.0</b>	0.0	0.0	0.0
	会社員	70	<b>40.0</b>	20.0	<b>31.4</b>	14.3	17.1	<b>34.3</b>	14.3	12.9	20.0	34.3	34.3	4.3	5.7	1.4
	公務員・教員	4	25.0	0.0	25.0	0.0	<b>25.0</b>	0.0	<b>25.0</b>	0.0	0.0	25.0	<b>100.0</b>	0.0	0.0	0.0
	農・林・漁業	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	主婦・主夫(パートなど)	33	<b>39.4</b>	21.2	30.3	9.1	12.1	<b>33.3</b>	9.1	9.1	6.1	33.3	30.3	3.0	6.1	0.0
	主婦・主夫(専業)	31	35.5	<b>25.8</b>	29.0	9.7	<b>22.6</b>	<b>35.5</b>	6.5	<b>19.4</b>	0.0	<b>38.7</b>	25.8	6.5	6.5	3.2
	学生	6	<b>50.0</b>	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	<b>16.7</b>	<b>33.3</b>	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0
	無職	37	5.4	2.7	8.1	10.8	21.6	5.4	5.4	5.4	<b>27.0</b>	13.5	27.0	5.4	10.8	8.1
	その他	11	18.2	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	18.2	18.2	0.0	0.0	27.3	0.0
居住区別	門司区	16	18.8	12.5	<b>43.8</b>	<b>31.3</b>	<b>37.5</b>	<b>50.0</b>	6.3	6.3	<b>25.0</b>	<b>62.5</b>	6.3	0.0	0.0	0.0
	小倉北区	45	35.6	11.1	22.2	11.1	15.6	20.0	11.1	<b>17.8</b>	20.0	24.4	<b>35.6</b>	6.7	4.4	2.2
	小倉南区	50	28.0	18.0	22.0	12.0	8.0	26.0	6.0	14.0	12.0	22.0	32.0	2.0	18.0	2.0
	若松区	17	35.3	11.8	23.5	0.0	<b>23.5</b>	<b>35.3</b>	0.0	11.8	5.9	23.5	23.5	0.0	11.8	0.0
	八幡東区	14	28.6	7.1	7.1	7.1	21.4	21.4	14.3	0.0	7.1	21.4	<b>35.7</b>	0.0	7.1	7.1
	八幡西区	59	32.2	<b>27.1</b>	30.5	10.2	18.6	25.4	<b>16.9</b>	11.9	16.9	32.2	<b>37.3</b>	5.1	5.1	3.4
	戸畑区	10	<b>50.0</b>	<b>30.0</b>	<b>40.0</b>	<b>30.0</b>	10.0	20.0	<b>20.0</b>	10.0	10.0	<b>60.0</b>	0.0	<b>10.0</b>	0.0	0.0
経年比較																
平成26年度	全体	237	35.4	14.3	19.8	13.5	10.5	28.7	9.3	11.0	11.4	28.7	25.3	6.3	8.9	3.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上多いもの(「その他」、「無回答」は除く)

## 加入していない理由

### 【全体的傾向】

自治会・町内会に「加入していない」理由は、「加入を勧められたことがない」(31.8%)が最も多く、次いで「加入しなくても日常生活に支障がない」及び「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」(各30.3%)が同率で続き、これらは3割以上となっている。

### 【属性別にみた傾向】

- ◇ 性別では、総合1位の「加入を勧められたことがない」は女性(32.8%)が男性(30.6%)を上回った。総合2位の「加入しなくても日常生活に支障がない」は男性(32.9%)が女性(28.7%)を上回った。同じく総合2位の「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」も男性(30.6%)が女性(30.3%)を上回っている。
- ◇ 年齢別では、総合1位の「加入を勧められたことがない」は30歳代(59.4%)で最も多く、唯一5割を上回った。総合2位の「加入しなくても日常生活に支障がない」も30歳代(56.3%)で最も多く、同じく総合2位の「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」では50歳代(41.7%)で最も多くなっている。
- ◇ 居住年数別では、総合1位の「加入を勧められたことがない」は1年未満(60.0%)で最も多く、唯一6割を上回った。総合2位の「加入しなくても日常生活に支障がない」は30年未満(45.2%)で最も多く、同じく総合2位の「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」は10年未満(63.6%)で最も多くなっている。
- ◇ 職業別では、総合1位の「加入を勧められたことがない」は会社員(40.0%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(39.4%)が続いた。総合2位の「加入しなくても日常生活に支障がない」は主婦・主夫(専業)(38.7%)で最も多かった。同じく総合2位「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」は会社員(34.3%)で最も多く、次いで主婦・主夫(パートなど)(30.3%)が続き、これらの職業層で3割を上回った。
- ◇ 居住区を行政区別に見ると、総合1位の「加入を勧められたことがない」は戸畑区(50.0%)で最も多く、次いで小倉北区(35.6%)が続いた。総合2位の「加入しなくても日常生活に支障がない」は門司区(62.5%)で最も多かった。同じく総合2位の「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」は八幡西区(37.3%)で最も多く、次いで八幡東区(35.7%)、小倉北区(35.6%)と続いた。

### 【経年比較】

今年度の調査結果を、平成26年度調査結果と比較したところ、「加入を勧められたことがない」は平成26年度(35.4%)が今年度(31.8%)を上回っている。「加入しなくても日常生活に支障がない」は今年度(30.3%)が平成26年度(28.7%)を上回っている。また、「住んでいるマンション等の集合住宅そのものが加入していない」も今年度(30.3%)が平成26年度(25.3%)を上回っている。